

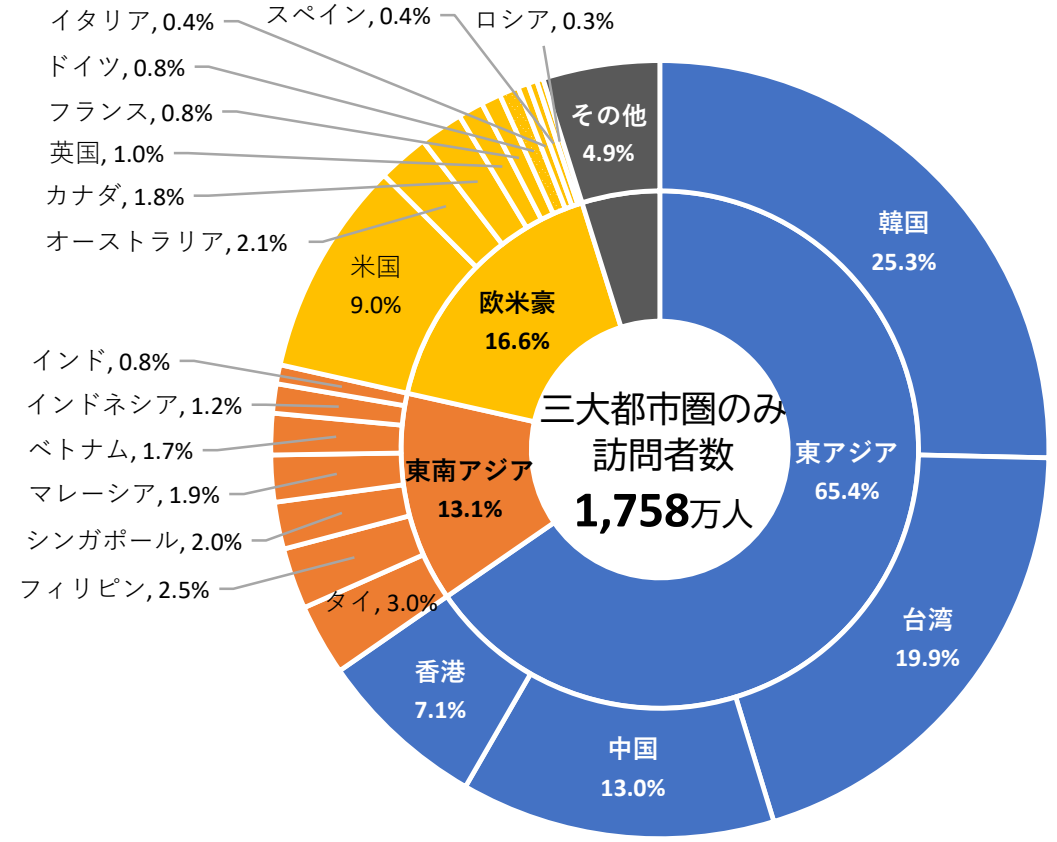
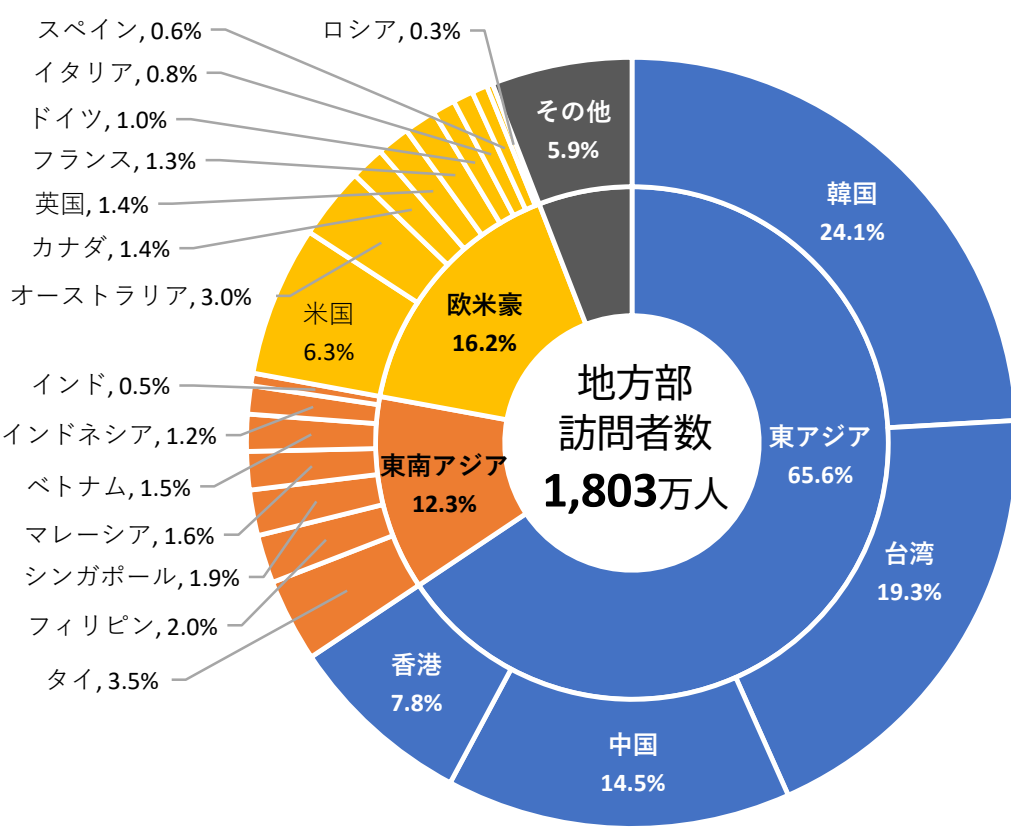
【トピックス分析】インバウンド消費動向調査(参考) 地方部訪問者の消費行動等に関する分析

【対象調査】A1.全国調査, B1.地域調査
【分析データ】2024年暦年確報値

1.地方部訪問者属性__国籍・地域別訪問者数

- 2024年暦年における訪日外国人旅行者約3,561万人のうち、地方部訪問者数は1,803万人(50.6%)、三大都市圏のみ訪問者数は1,758万人(49.4%)と推計される。
- 地方部訪問者・三大都市圏のみ訪問者それぞれの国籍・地域別の構成比は、全体として類似しており、いずれも東アジアが6割以上を占めている。

＜地方部訪問者・三大都市圏のみ訪問者の国籍・地域別構成比＞

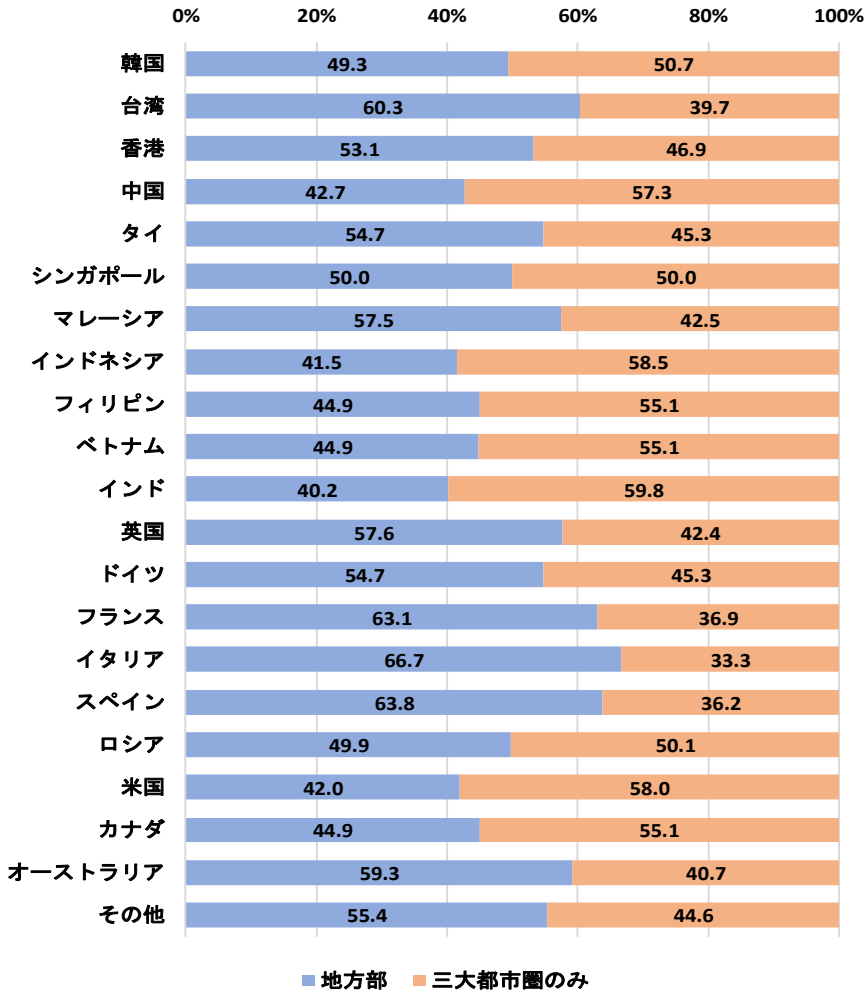


注1) 三大都市圏：埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県・愛知県・京都府・大阪府・兵庫県、地方部：三大都市圏以外の道県
 注2) 本資料は「B1地域調査」個票データ(全目的、2024年暦年)により作成。
 注3) 「地方部訪問者」は、日本滞在中に地方部へ宿泊を伴って訪問する場合のみならず、日帰りで訪問する場合を含む。

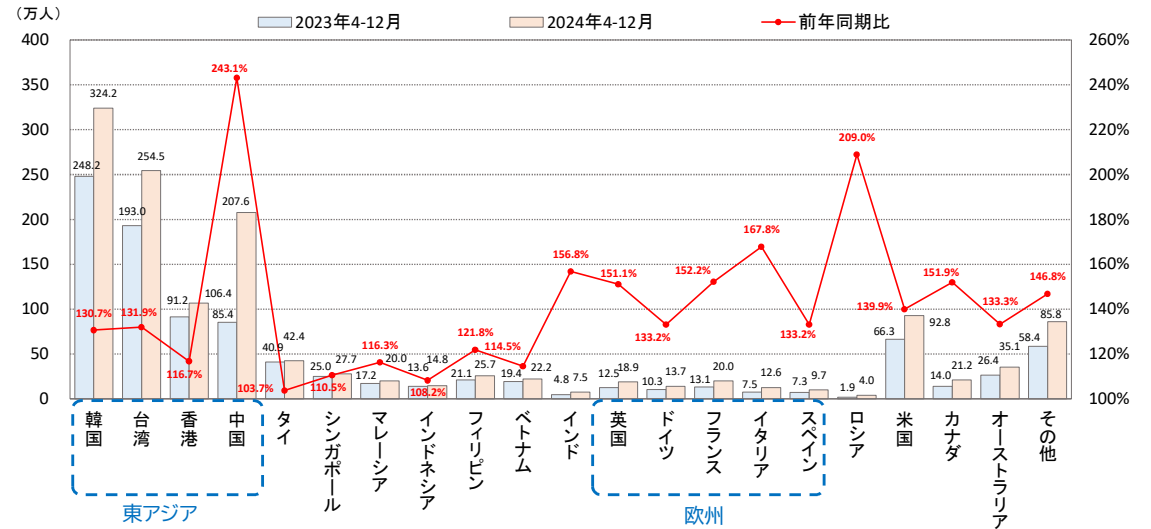
1. 地方部訪問者属性__ 国籍・地域別訪問率・訪問者数

- 台湾、香港、タイ、マレーシア、欧州及びオーストラリアでは、地方部訪問者の割合が高い。
- 全ての国籍・地域において地方部訪問者数・三大都市圏のみ訪問者数の双方が前年より増加しているが、特に東アジア、欧州は地方部訪問者の増加率が、三大都市圏のみ訪問者よりも高い国籍・地域が多い。

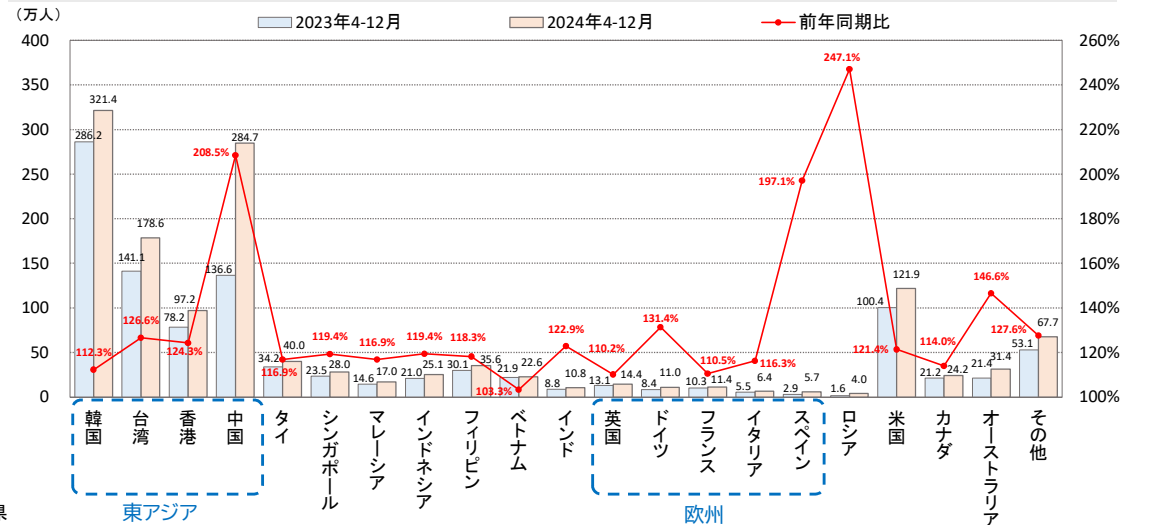
国籍・地域別
地方部訪問者・三大都市圏のみ訪問者の割合



国籍・地域別 地方部訪問者数



国籍・地域別 三大都市圏のみ訪問者数



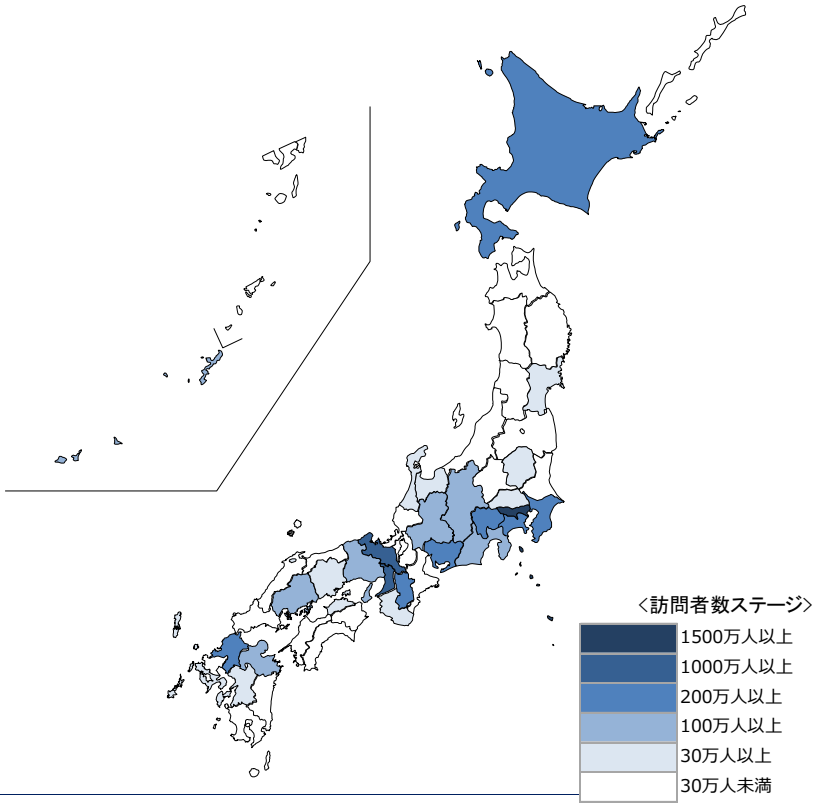
注1) 三大都市圏：埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県・愛知県・京都府・大阪府・兵庫県、地方部：三大都市圏以外の道県

注2) 本資料左図は「B1地域調査」個票データ(全目的、2024年暦年)により作成。右図は「B1地域調査」個票データ(全目的、2023年4-12月期、2024年4-12月期)により作成。

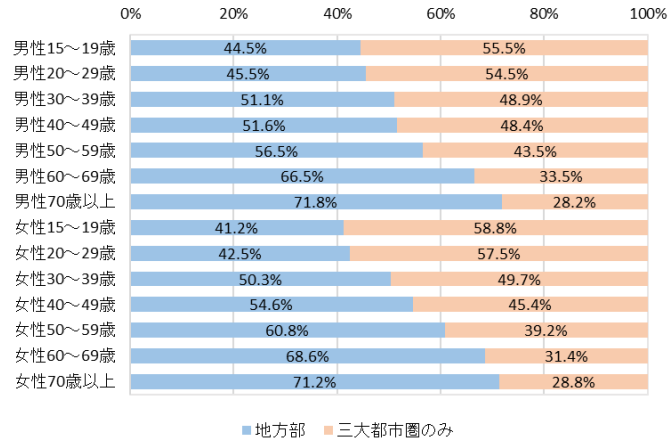
1. 地方部訪問者属性（全国籍・地域）

- 性別・年代別にみると、男女共に年齢が上がるにつれて地方部訪問者の割合が上昇する傾向となっている。
- 同行者別にみると、地方部訪問者の割合は「夫婦・パートナー」、三大都市圏のみ訪問者の割合は「自分ひとり」がそれぞれ最も高い。
- 来訪目的別にみると、業務目的においては三大都市圏のみ訪問者の割合が高い。
- 旅行手配方法別にみると、団体ツアー参加者は地方部訪問者の割合が高い。

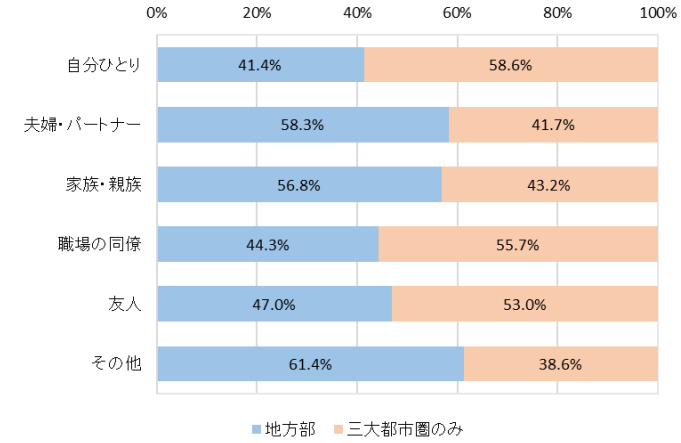
＜都道府県別_訪問者数＞



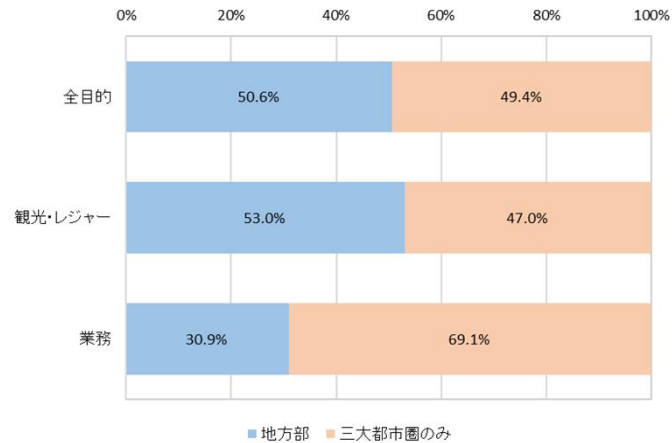
性別・年代



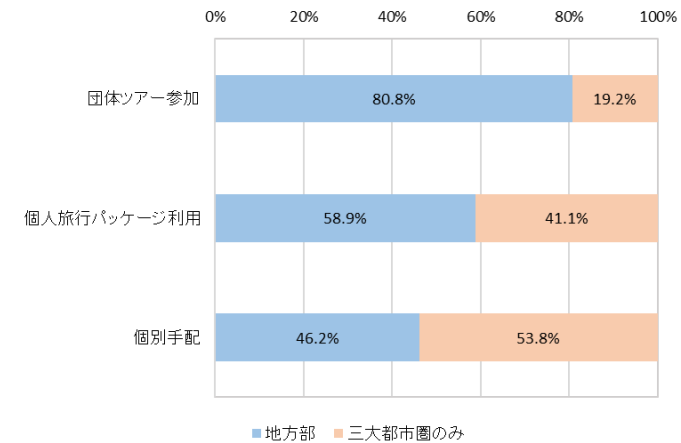
同行者



来訪目的



旅行手配方法

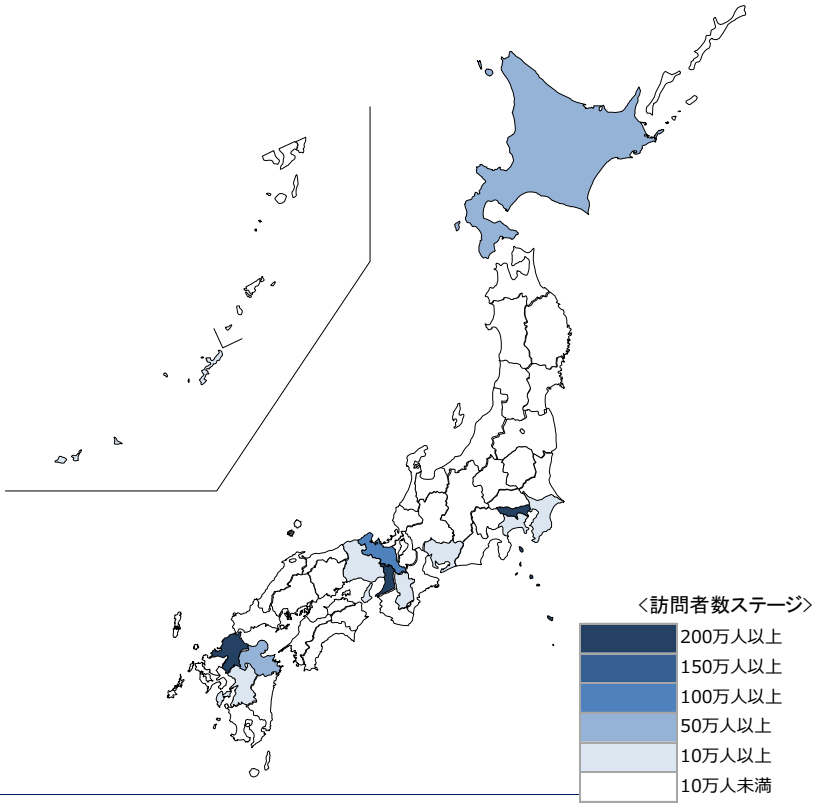


注1) 本資料は「B1地域調査」個票データ(全目的、2024年暦年)により作成。
注2) 本資料左図の都道府県別訪問者数については、出国時に空港のみ訪問した都道府県をカウント数から除いている。

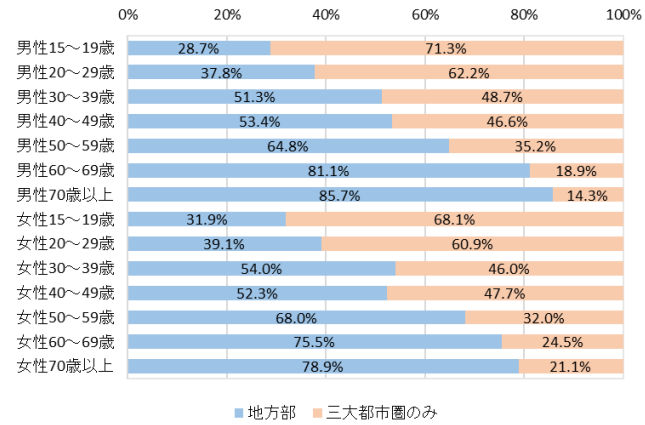
1. 地方部訪問者属性（韓国）

- 韓国からの旅行者は、全国籍・地域と比較し若年層において三大都市圏のみ訪問者の割合が高く、年齢が上がるにつれ地方部訪問者割合の上昇が著しい。特に男性についてはより顕著に上昇している。
- 地方部訪問者は北海道及び福岡県、大分県に集中している。

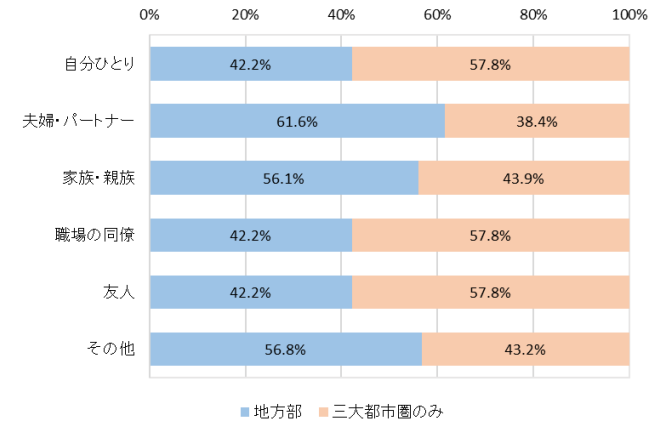
＜都道府県別_訪問者数＞



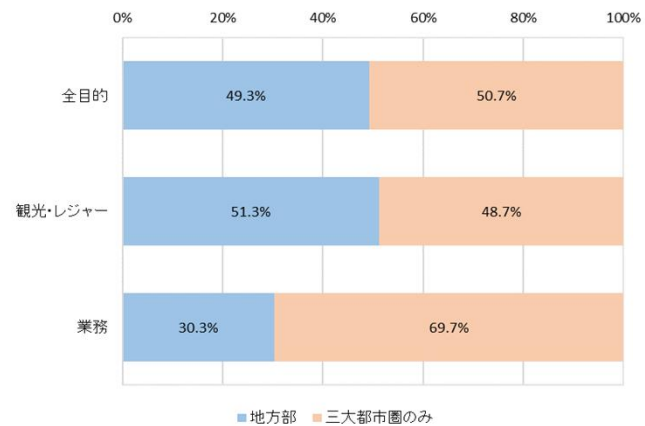
性別・年代



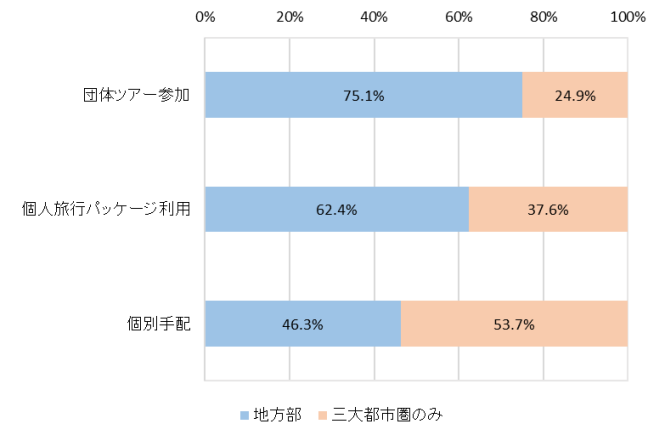
同行者



来訪目的



旅行手配方法

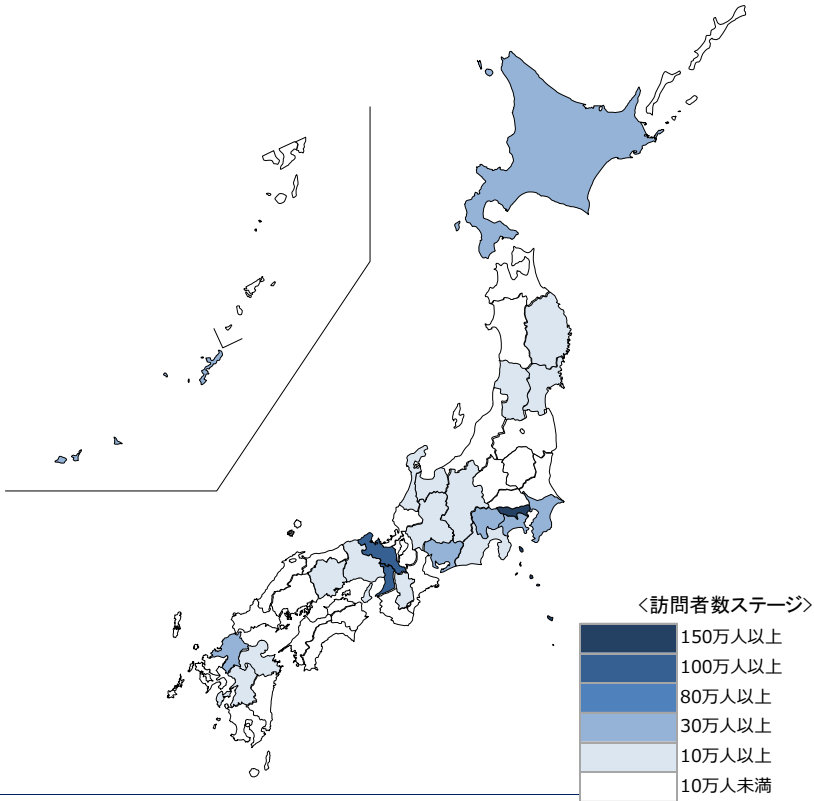


注1) 本資料は「B1地域調査」個票データ(全目的、2024年暦年)により作成。
注2) 本資料左図の都道府県別訪問者数については、出入国時に空港のみ訪問した都道府県をカウント数から除いている。

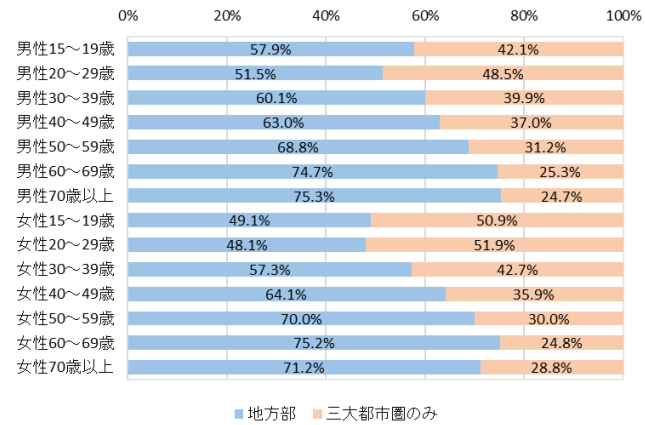
1.地方部訪問者属性（台湾）

- 台湾からの地方部への旅行者は、特に東北・中部地方において10万人以上訪問している県が複数見られる。
- 全ての性別・年代において、地方部訪問者の割合が全国籍・地域と比較して高い。
- 全国籍・地域や他のアジア圏と比較して、同行者「職場の同僚」や来訪目的「観光・レジャー」における地方部訪問者の割合が高いことが特徴となっている。

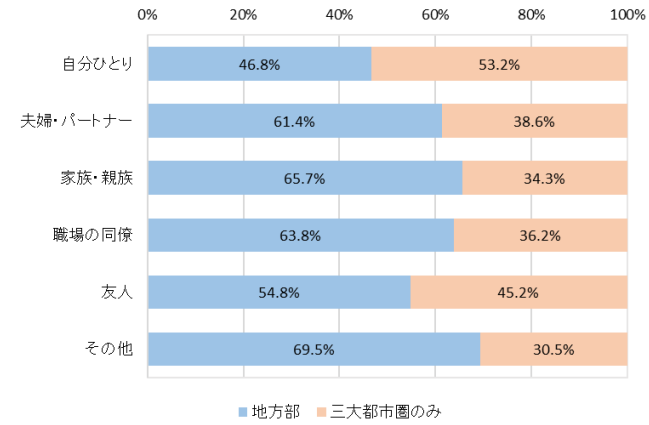
＜都道府県別_訪問者数＞



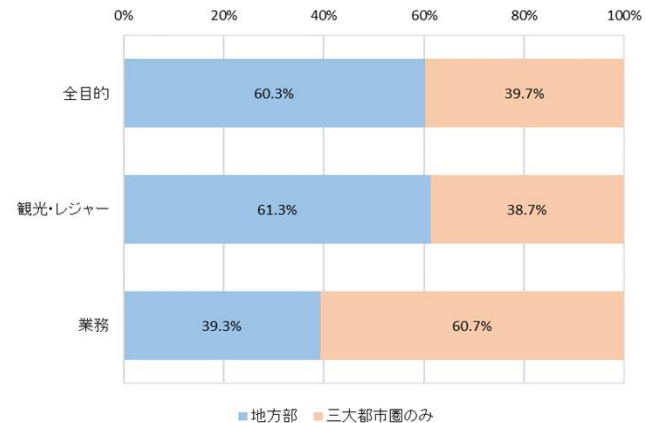
性別・年代



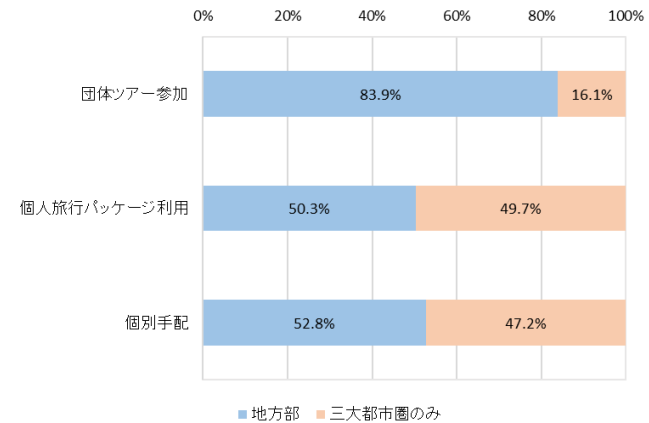
同行者



来訪目的



旅行手配方法

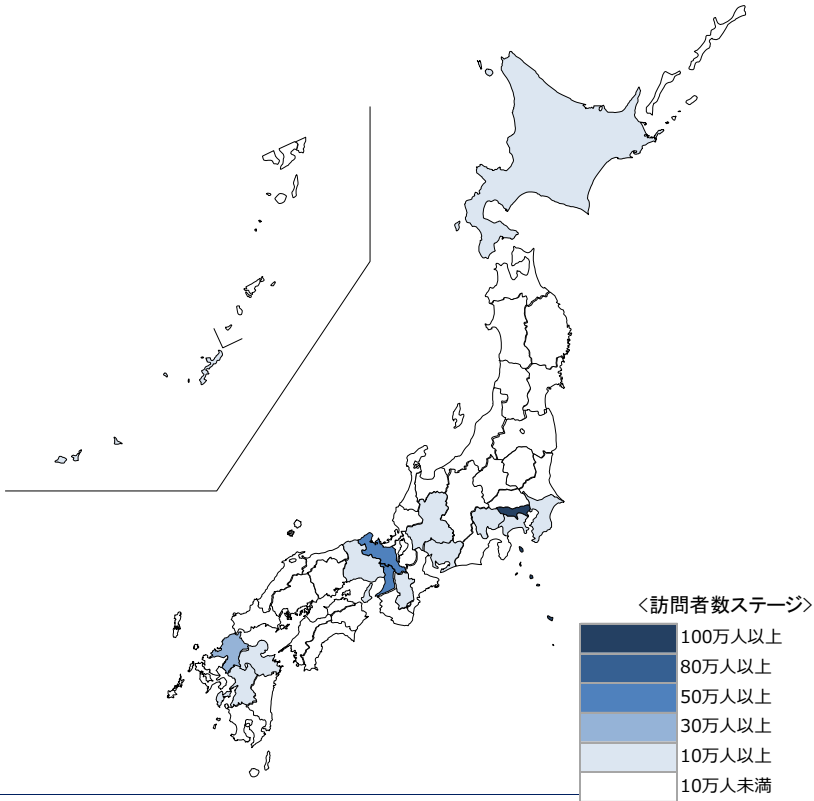


注1) 本資料は「B1地域調査」個票データ(全目的、2024年暦年)により作成。
注2) 本資料左図の都道府県別訪問者数については、出国時に空港のみ訪問した都道府県をカウント数から除いている。

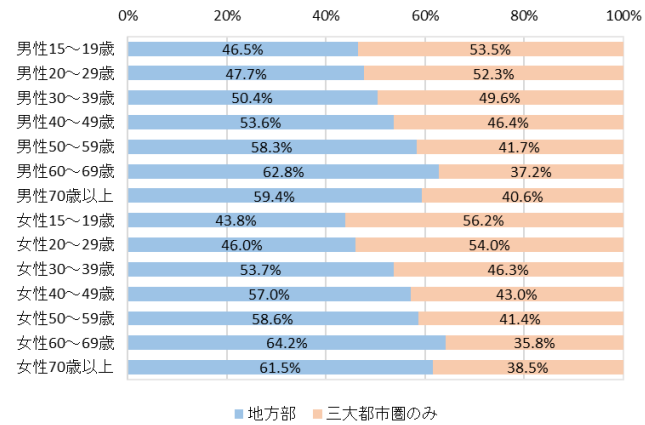
1.地方部訪問者属性（香港）

- 香港からの地方部訪問者は北海道、福岡県近隣、三大都市圏近隣の県に集約する傾向。
- 性別・年代別では、男女ともに30代以上から地方部訪問者の割合が三大都市圏のみ訪問者より多くなる。
- 同行者でみると、「夫婦・パートナー」、「家族・親族」及び「友人」では地方部訪問者の割合が相対的に高い。一方で、「自分ひとり」および「職場の同僚」では、三大都市圏のみに集中する傾向がみられる。

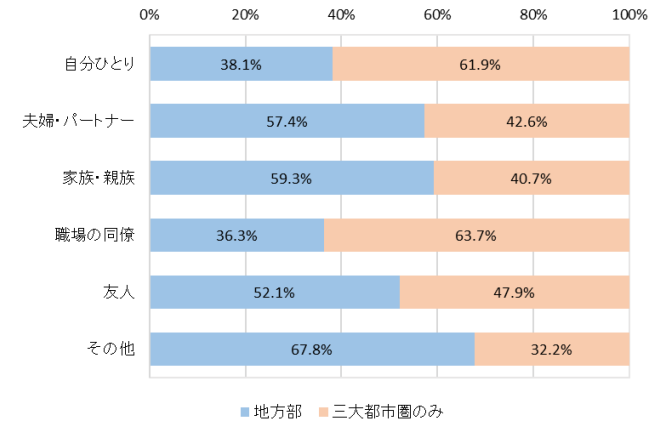
〈都道府県別_訪問者数〉



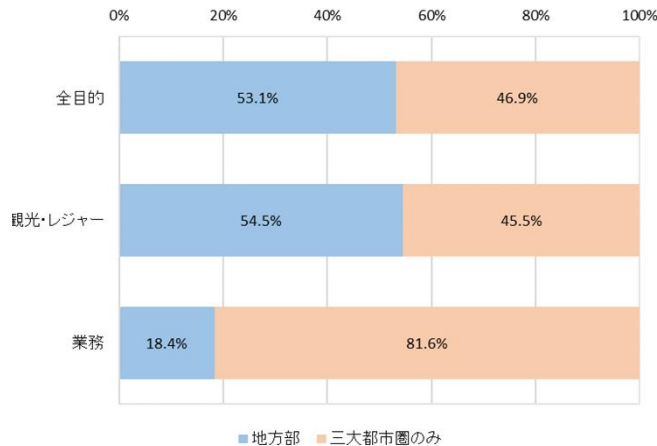
性別・年代



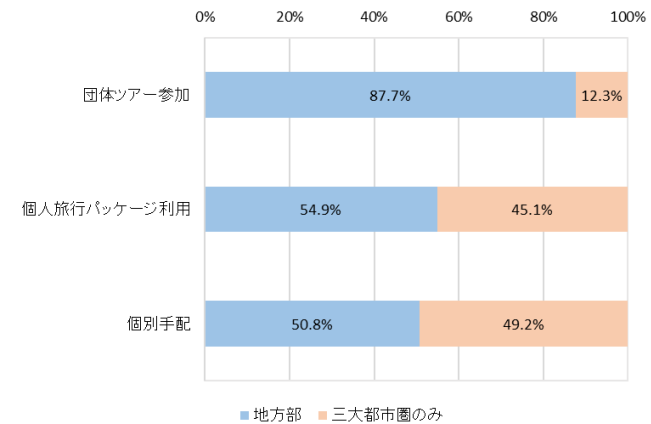
同行者



来訪目的



旅行手配方法

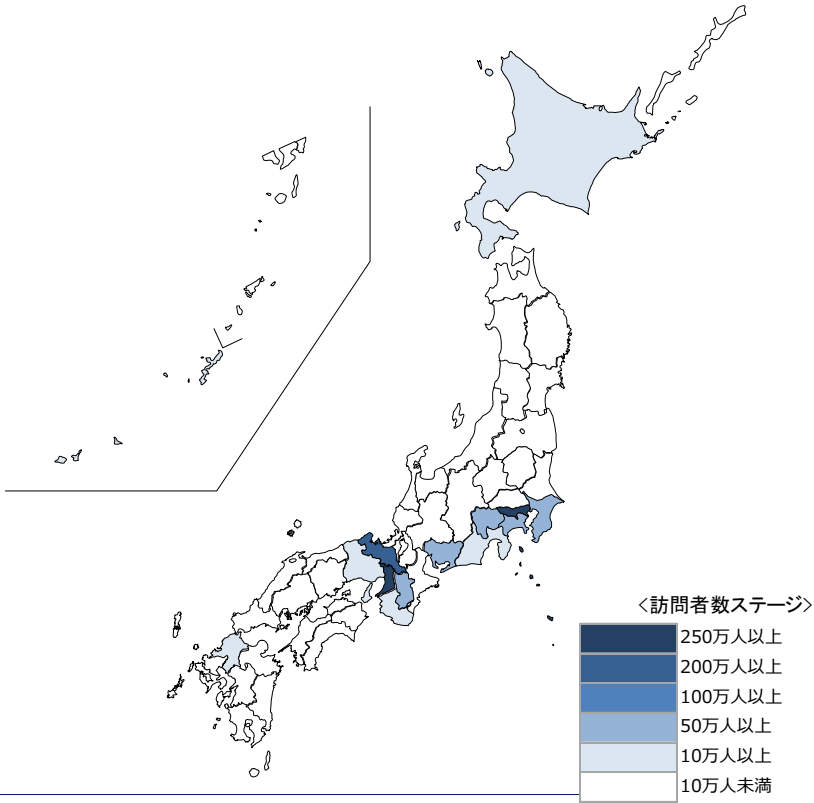


注1) 本資料は「B1地域調査」個票データ(全目的、2024年暦年)により作成。
注2) 本資料左図の都道府県別訪問者数については、出国時に空港のみ訪問した都道府県をカウント数から除いている。

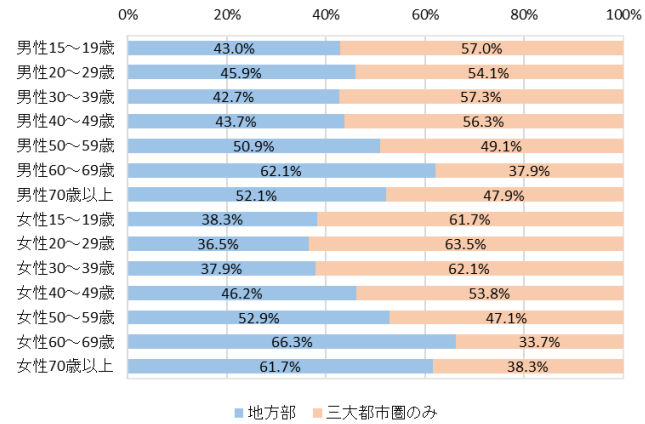
1.地方部訪問者属性（中国）

- 中国からの旅行者は、性別・年代を問わず三大都市圏のみを訪問する傾向が強いが、地方部では山梨県や奈良県が例外的に多く、訪問者数は50万人を超える。なお、性別・年代別に見ると、男女ともに50代以上では三大都市圏のみ訪問者より地方部訪問者の割合が高くなる。

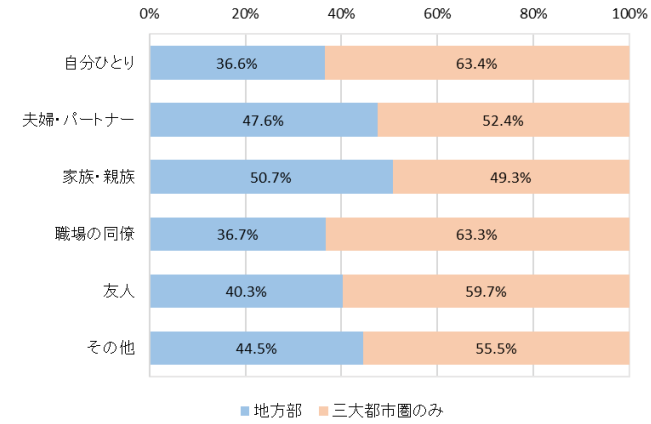
＜都道府県別_訪問者数＞



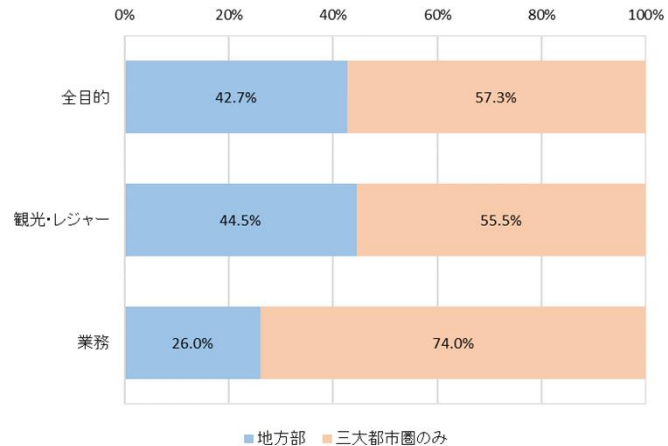
性別・年代



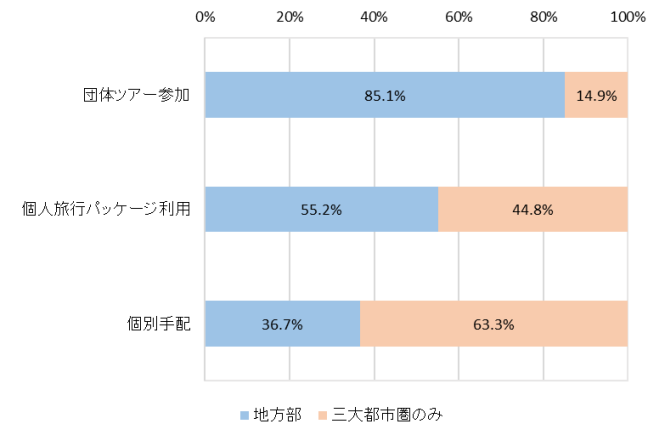
同行者



来訪目的



旅行手配方法

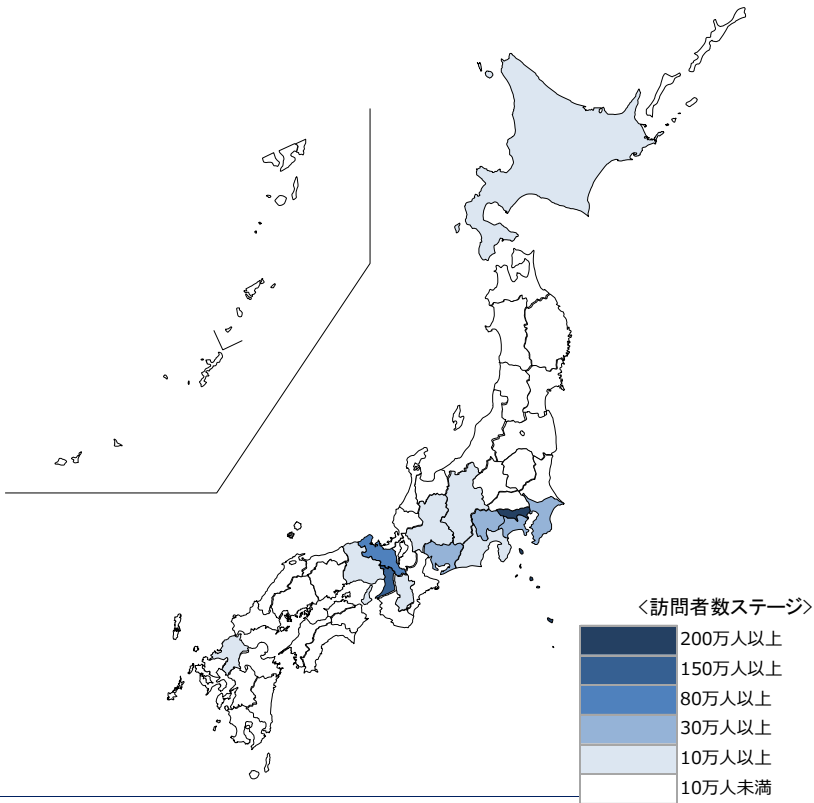


注1) 本資料は「B1地域調査」個票データ(全目的、2024年暦年)により作成。
 注2) 本資料左図の都道府県別訪問者数については、出入国時に空港のみ訪問した都道府県をカウント数から除いている。

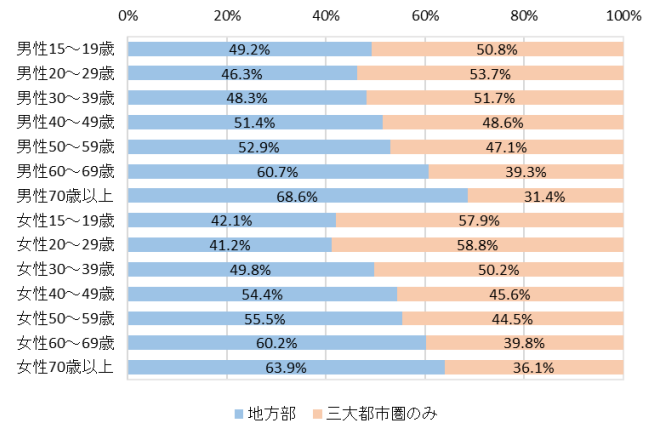
1.地方部訪問者属性（東南アジア）

- 東南アジアからの地方部訪問者は、北海道、福岡県に加え、中部地方の県への訪問者も多い。
- 同行者でみると、「自分ひとり」では三大都市圏のみを訪問する割合が高い。一方、「家族・親族」や「夫婦・パートナー」は地方部を訪問する割合が高い。

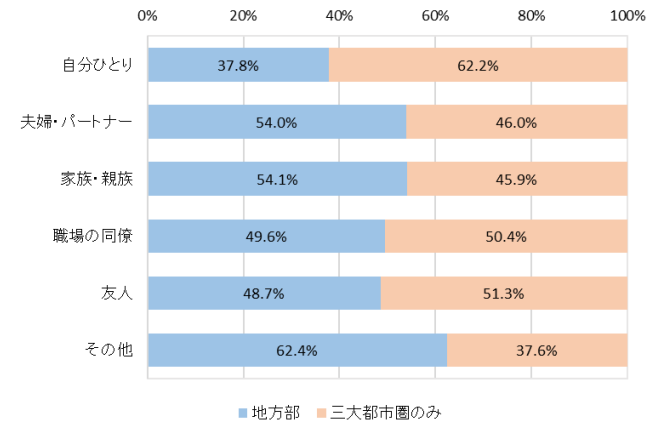
＜都道府県別_訪問者数＞



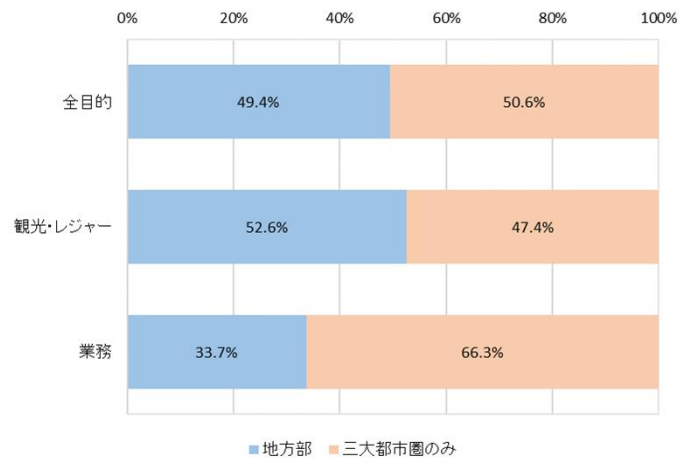
性別・年代



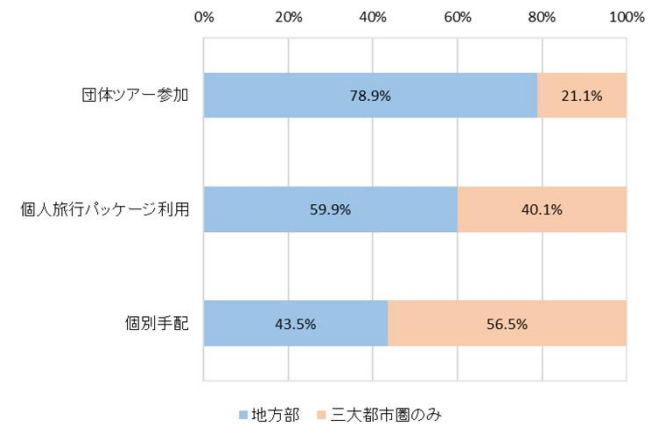
同行者



来訪目的



旅行手配方法

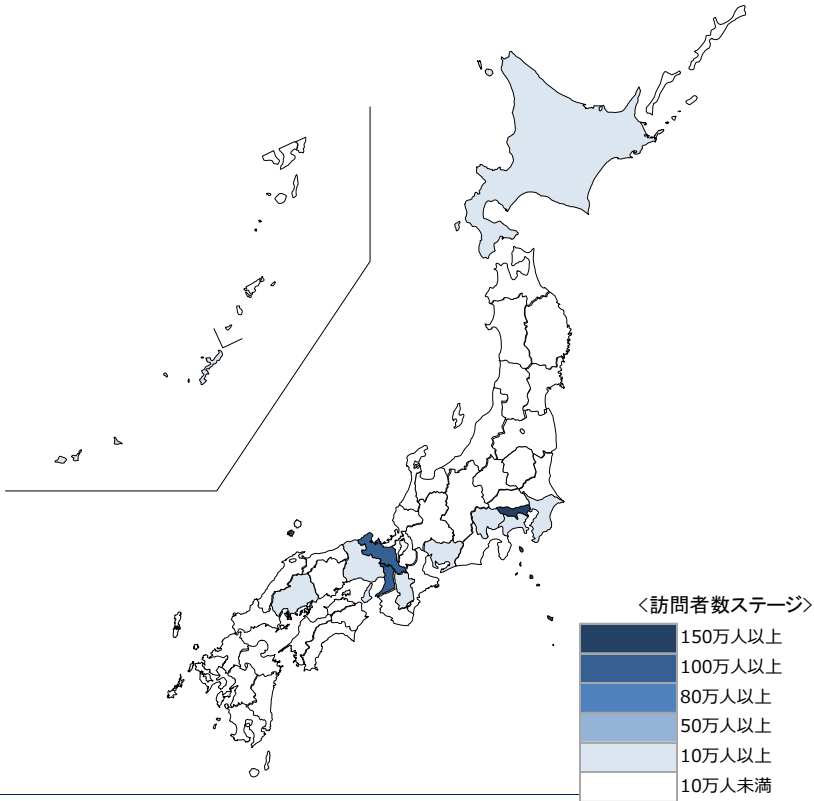


注1) 「東南アジア」には、タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア、フィリピン、ベトナム を含む。
 注2) 本資料は「B1地域調査」個票データ(全目的、2024年暦年)により作成。
 注3) 本資料左図の都道府県別訪問者数については、出入国時に空港のみ訪問した都道府県をカウント数から除いている。

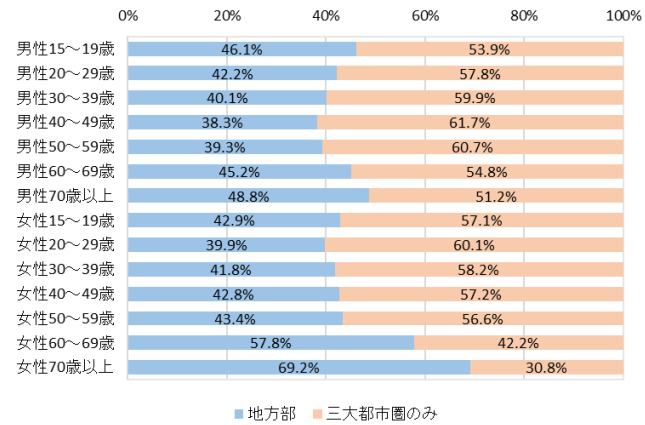
1.地方部訪問者属性（米国）

- 米国からの旅行者は、全体的に三大都市圏のみ訪問者の割合が高い傾向であり、女性60代以上を除いた全ての性別・年代で三大都市圏のみ訪問者が過半を占める。
- 地方部訪問者では広島県の訪問者数が10万人以上と多いことが特徴となっている。

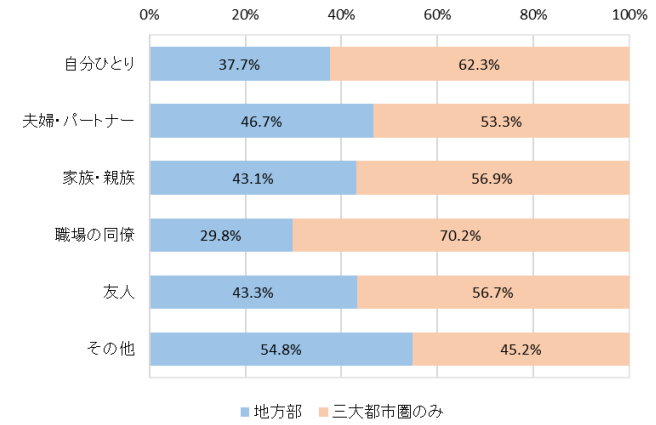
＜都道府県別_訪問者数＞



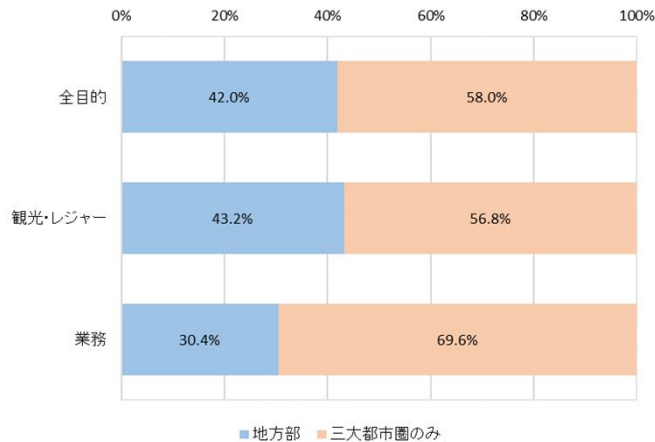
性別・年代



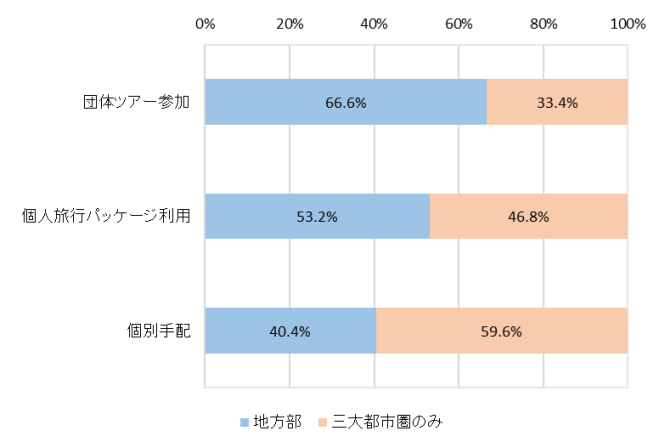
同行者



来訪目的



旅行手配方法

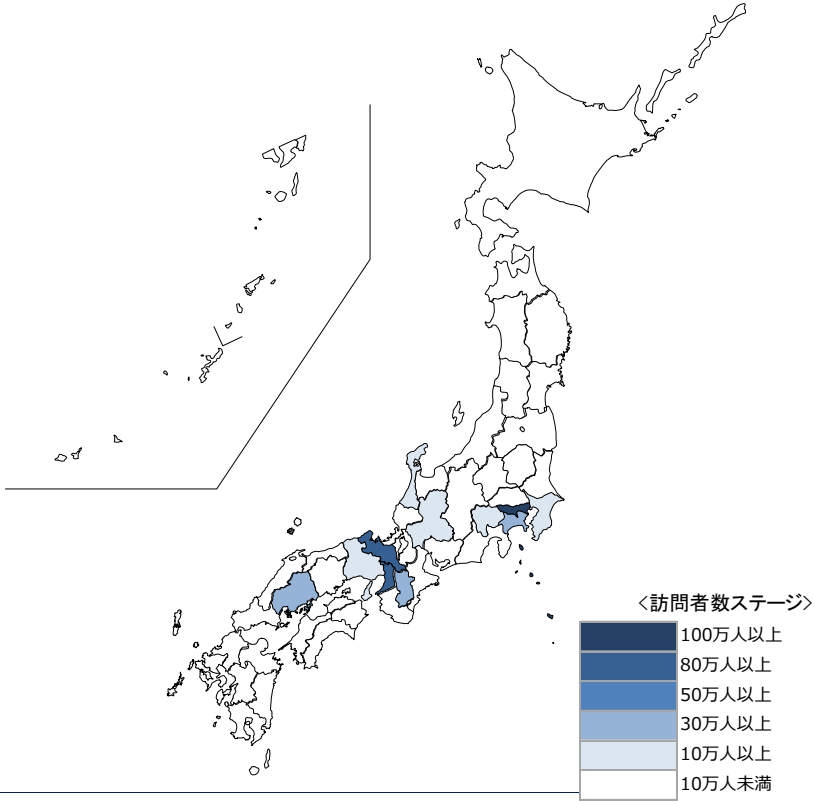


注1) 本資料は「B1地域調査」個票データ(全目的、2024年暦年)により作成。
注2) 本資料左図の都道府県別訪問者数については、出国時に空港のみ訪問した都道府県をカウント数から除いている。

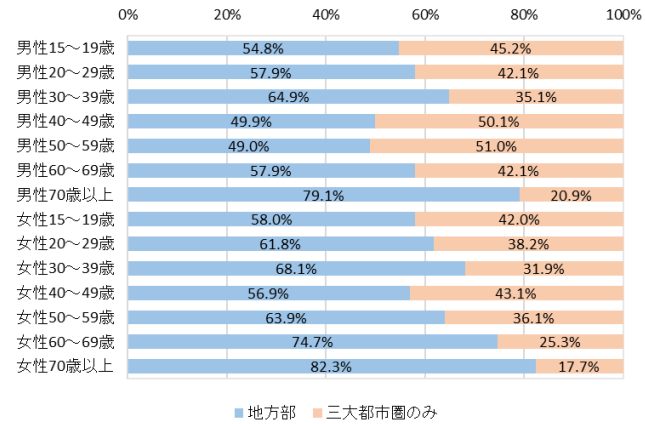
1.地方部訪問者属性（欧州）

- ・ 欧州からの旅行者は、全体的に地方部訪問者の割合が高い傾向となっている。中でも広島県が30万人以上と多く、次いで石川県、岐阜県の訪問者も多い。
- ・ 概ね全ての性別・年代において地方部訪問が過半を占め、また、男女ともに70歳以上は約8割が地方部訪問と高い。
- ・ 旅行手配方法では、個別手配においても地方部訪問者の割合が高いことが特徴。

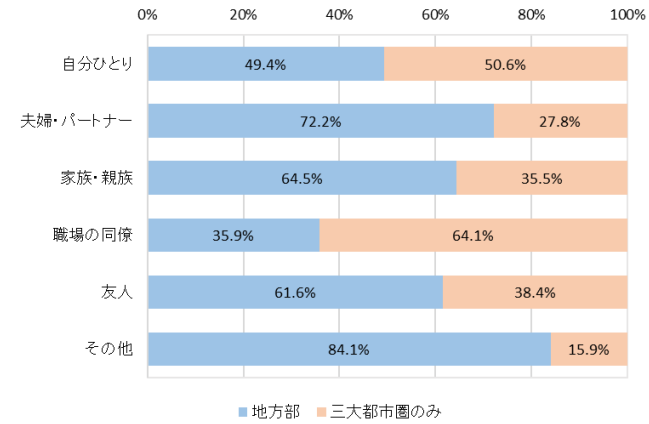
＜都道府県別_訪問者数＞



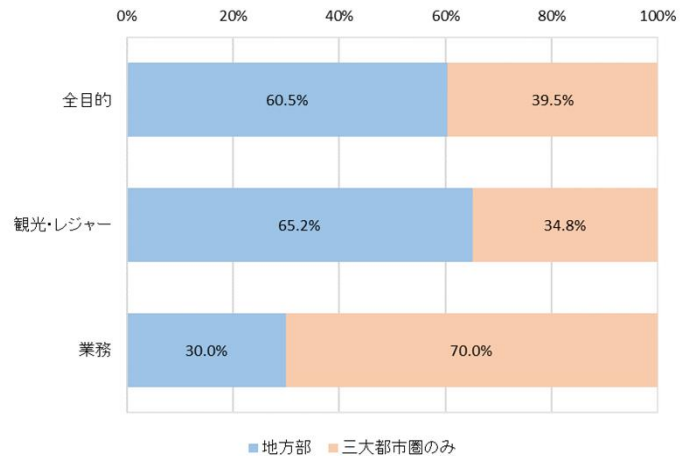
性別・年代



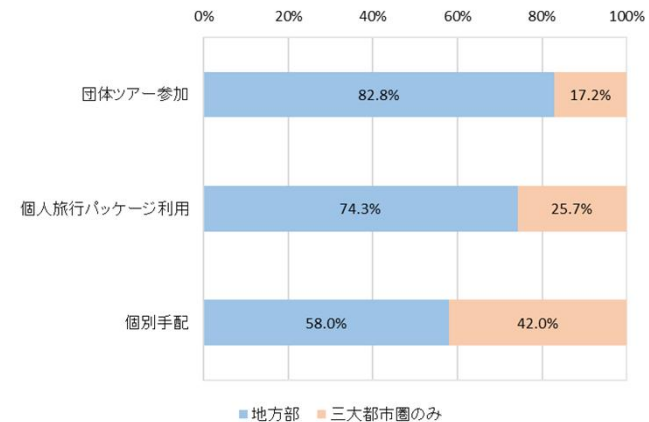
同行者



来訪目的



旅行手配方法

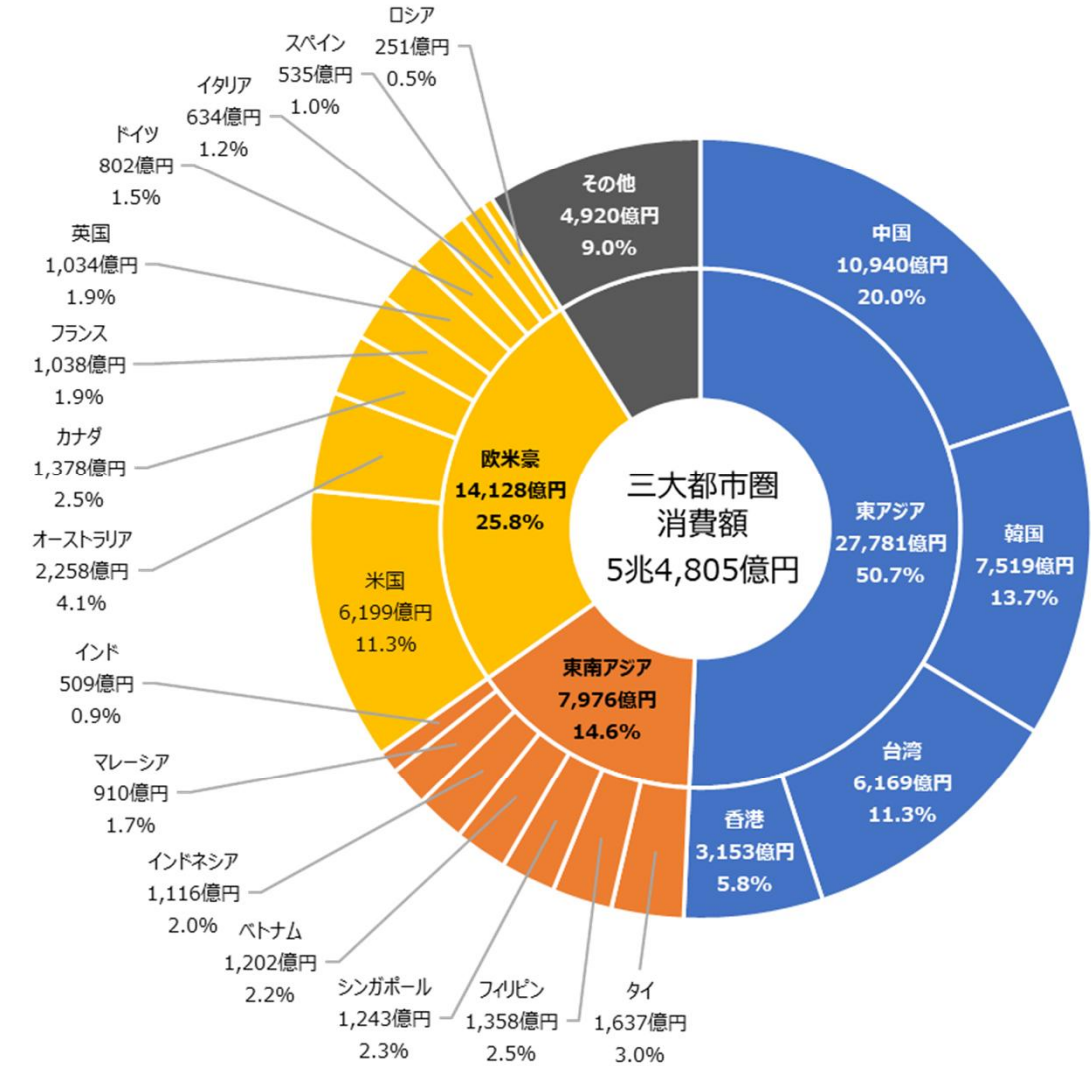
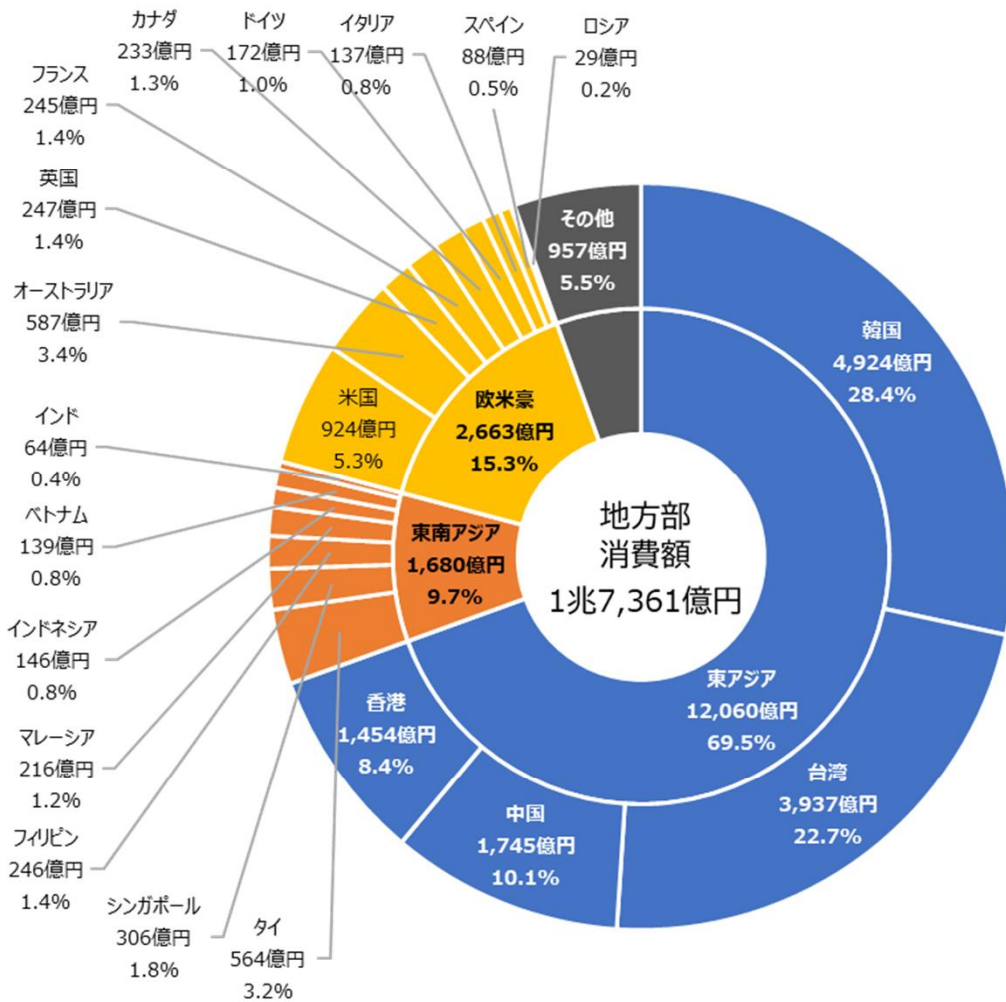


注1) 「欧州」には、英国、フランス、ドイツ、イタリア、スペインを含む。
 注2) 本資料は「B1地域調査」個票データ(全目的、2024年暦年)により作成。
 注3) 本資料左図の都道府県別訪問者数については、出入国時に空港のみ訪問した都道府県をカウント数から除いている。

2.地方部における消費動向__国籍・地域別消費額

- 地方部における消費額の割合を国籍・地域別にみると、韓国、台湾で約5割を占め、東アジアの国が占める割合が高い。
- 地方部と三大都市圏の消費額を比較すると、三大都市圏より地方部における構成割合が高いのは韓国、台湾、香港、タイである。一方で地方部における消費額に占める中国、米国の構成割合は、三大都市圏に占める構成割合の5割程度と低くなっている。

＜国籍・地域別の地方部および三大都市圏の消費額＞



注1) 三大都市圏：埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県・愛知県・京都府・大阪府・兵庫県、地方部：三大都市圏以外の道県

注2) 本資料は都道府県別旅行消費額を国籍・地域別に合計しており、消費額には団体・バックツアー料金に含まれる訪問地収入分が含まれるが、都道府県間交通費および訪問地不明の支出は含まれない。

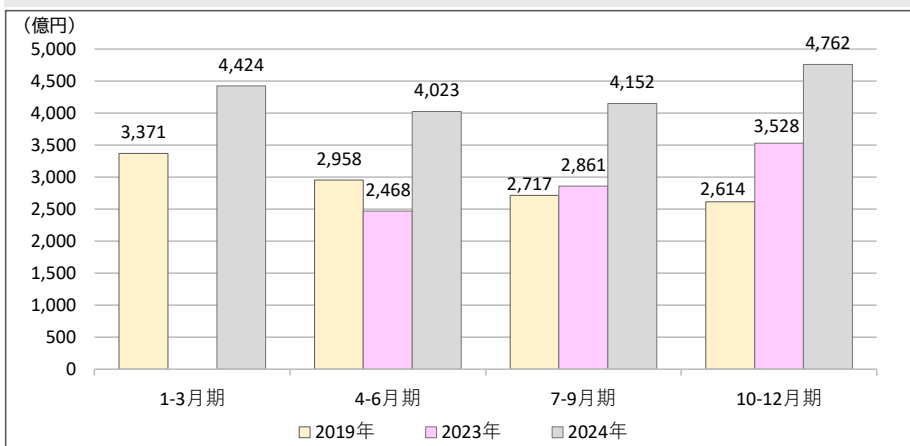
そのため、全国の訪日外国人旅行消費額とは一致しない。

注3) 本資料は「B1地域調査」個票データ(全目的、2024年暦年)により作成。

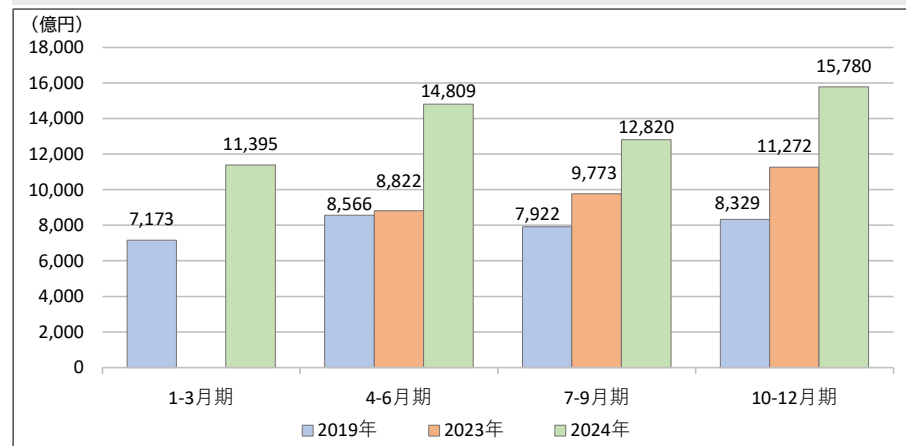
2.地方部における消費動向(全国籍・地域)

- 地方部及び三大都市圏の訪問パターン別の一人当たり消費単価等をみると、地方部のみ訪問した旅行者は三大都市圏のみ訪問した旅行者と比べ、平均泊数が短く消費単価も低い。
- 消費単価の費目別内訳をみると、地方部のみ訪問した旅行者は、三大都市圏のみ訪問した旅行者と比べ宿泊費や買物代等の消費単価が低い。
- 三大都市圏及び地方部の両方を訪問した旅行者は、三大都市圏のみ又は地方部のみ訪問した旅行者と比べ、平均泊数が長く消費単価も高い。
- 両方訪問者の地方部における消費単価をみると、地方部宿泊旅行者の地方部での消費単価(6.4万円)は地方部日帰り旅行者の消費単価(0.4万円)の約16倍となる。宿泊費以外にも、飲食費や買物代等の消費単価が日帰り旅行者の消費単価を大きく上回っている。

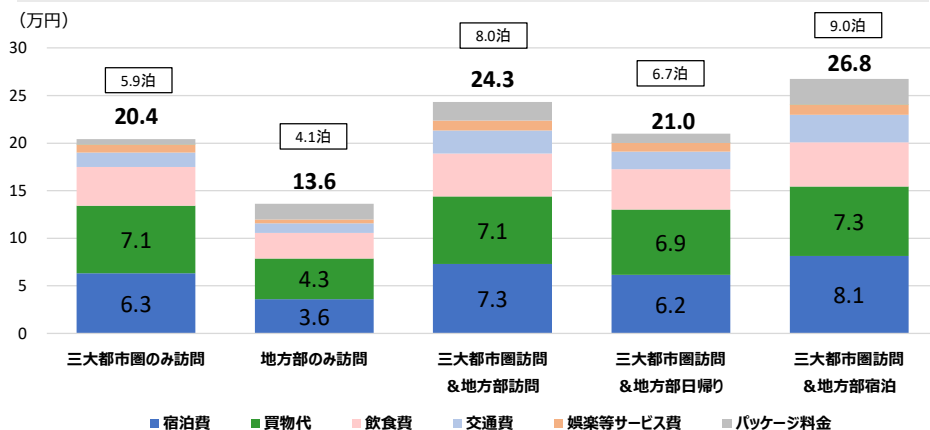
消費額の四半期動向(地方部)^{注1}



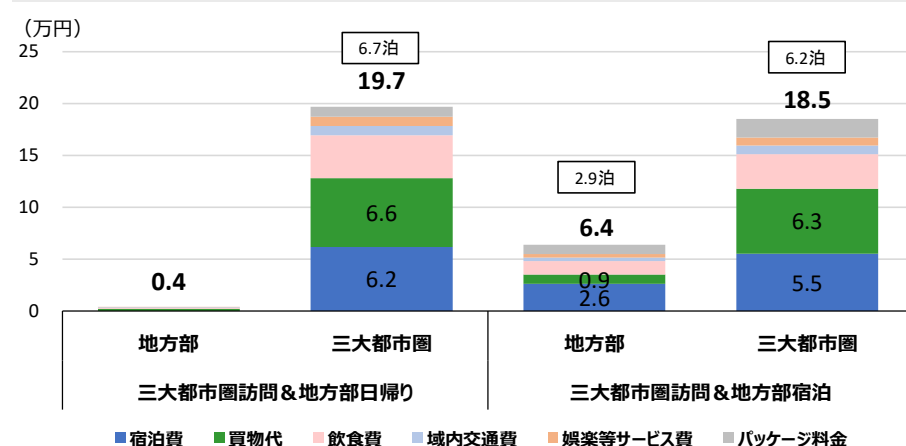
消費額の四半期動向(三大都市圏)^{注1}



訪問パターン別消費単価及び平均泊数^{注2}



訪問パターン別訪問地における消費単価及び平均泊数^{注2}



注1) 本資料は「B1地域調査」個票データ(全目的)により作成。新型コロナウイルス感染症の影響により、2023年1-3月期は調査を中止していた。

注2) 本資料は「B1地域調査」個票データ(観光・レジャー目的、2024年暦年)により作成。また、費目「その他」は図中から除外しており、訪問地における消費単価では「域間交通費」が特定の都道府県に按分することができないため含まれない。

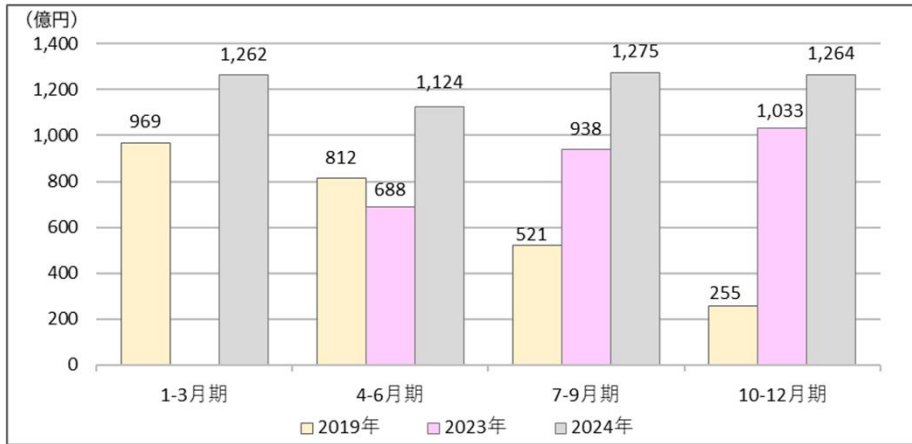
注3) 三大都市圏：埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県・愛知県・京都府・大阪府・兵庫県、地方部：三大都市圏以外の道県

注4) 「訪問」は、日本滞在中に宿泊を伴って訪問する場合のみならず、日帰りで訪問する場合を含む。

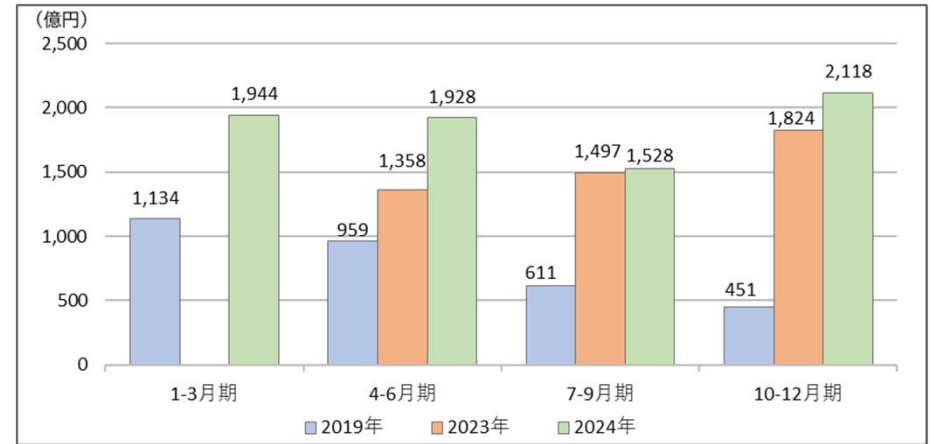
2.地方部における消費動向(韓国)

- 訪問パターン別に消費単価をみると、三大都市圏のみ訪問した旅行者と地方部のみ訪問した旅行者において平均泊数及び消費単価ともに差が小さい。また、「三大都市圏訪問&地方部宿泊」をしている旅行者は費目別消費単価、泊数ともに他の訪問パターンと比較して高い。
- 三大都市圏訪問&地方部宿泊した旅行者の平均泊数は三大都市圏で2.9泊、地方部で2.0泊と、訪日滞在期間中に占める地方部での滞在日数の割合が全国籍・地域に比べて長い傾向。

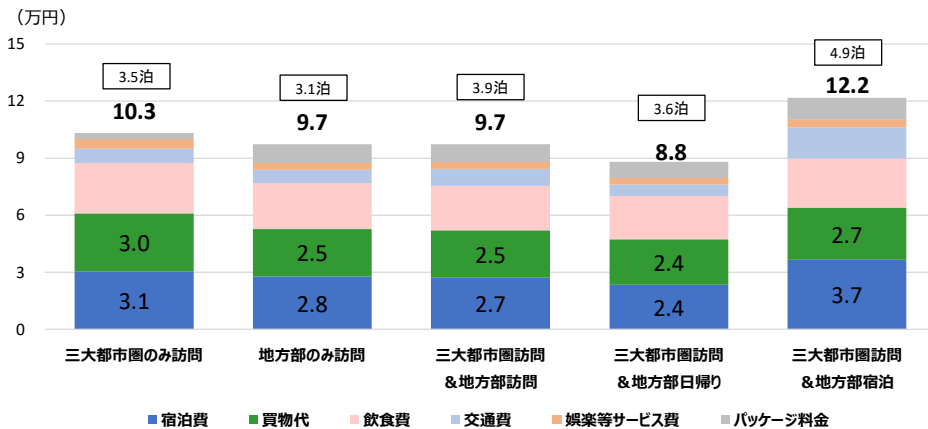
消費額の四半期動向(地方部)^{注1}



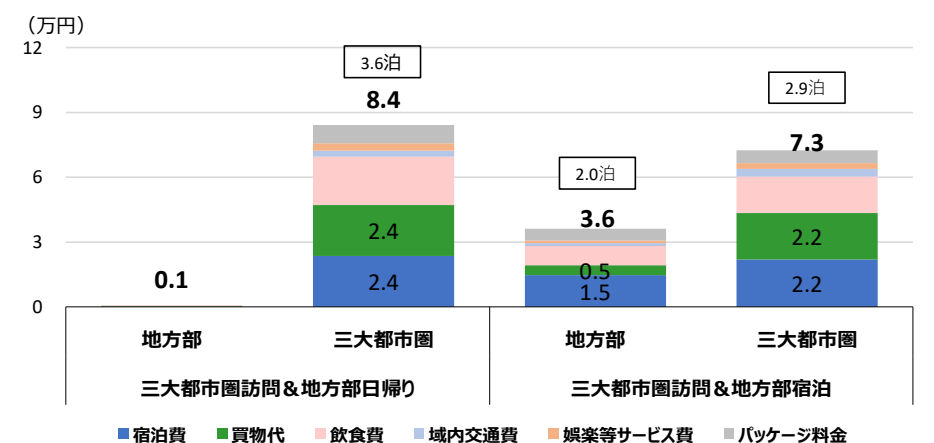
消費額の四半期動向(三大都市圏)^{注1}



訪問パターン別消費単価及び平均泊数^{注2}



訪問パターン別訪問地における消費単価及び平均泊数^{注2}



注1) 本資料は「B1地域調査」個票データ(全目的)により作成。新型コロナウイルス感染症の影響により、2023年1-3月期は調査を中止していた。

注2) 本資料は「B1地域調査」個票データ(観光・レジャー目的、2024年暦年)により作成。また、費目「その他」は図中から除外しており、訪問地における消費単価では「域間交通費」が特定の都道府県に按分することができないため含まれない。

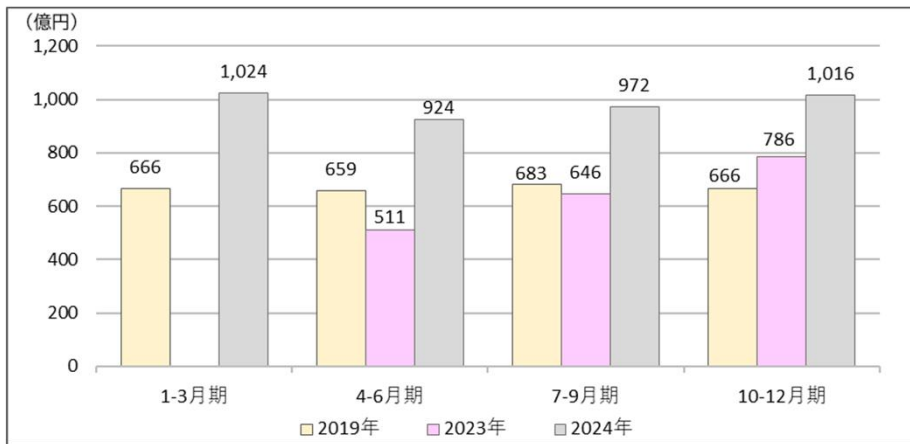
注3) 三大都市圏：埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県・愛知県・京都市・大阪府・兵庫県、地方部：三大都市圏以外の道県

注4) 「訪問」は、日本滞在中に宿泊を伴って訪問する場合のみならず、日帰りで訪問する場合を含む。

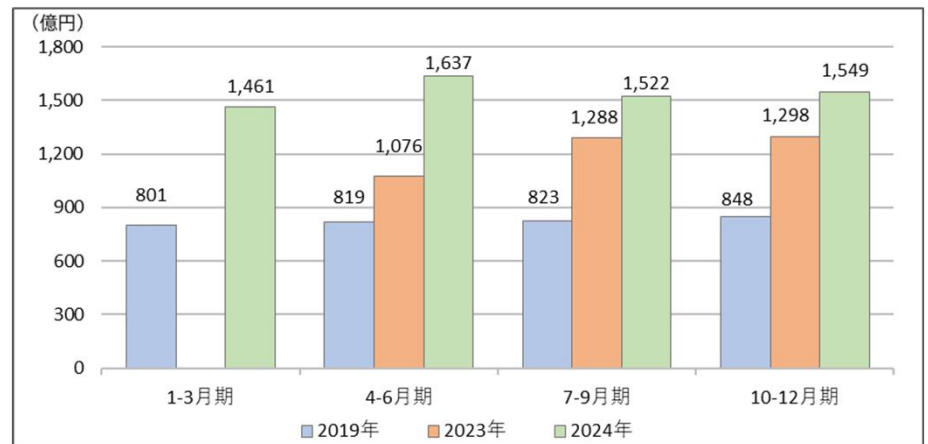
2.地方部における消費動向(台湾)

- 台湾の特徴として、四半期ごとの消費額の波が少ないことが挙げられる。
- 訪問パターン別に消費単価をみると、パッケージ料金の割合が他の国籍・地域と比べて高く、特に「三大都市圏訪問&地方部宿泊」した旅行者で高い。
- 「三大都市圏訪問&地方部宿泊」した旅行者の平均泊数は、三大都市圏で3.2泊、地方部で2.3泊と、訪日滞在期間中に占める地方部での滞在日数の割合が全国籍・地域に比べて長い傾向。一方で消費単価は三大都市圏における消費(11.8万円)と地方部における消費(5.5万円)に2倍以上の差があり、特に買物代の差が大きい。

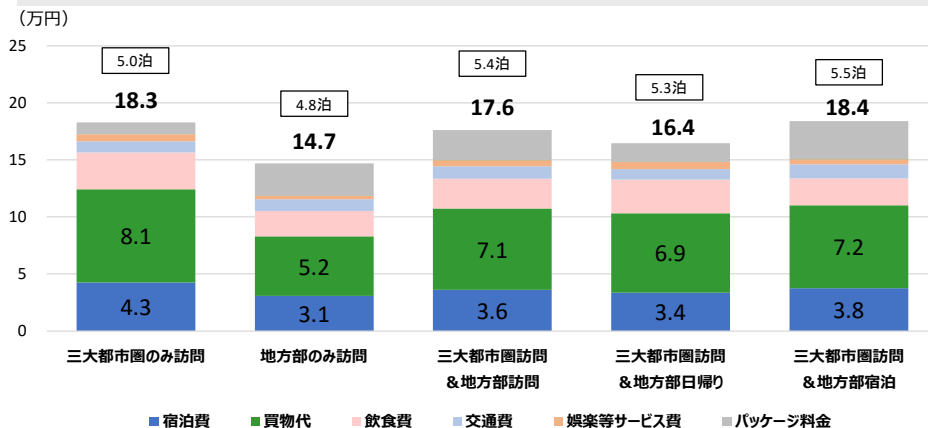
消費額の四半期動向(地方部)^{注1}



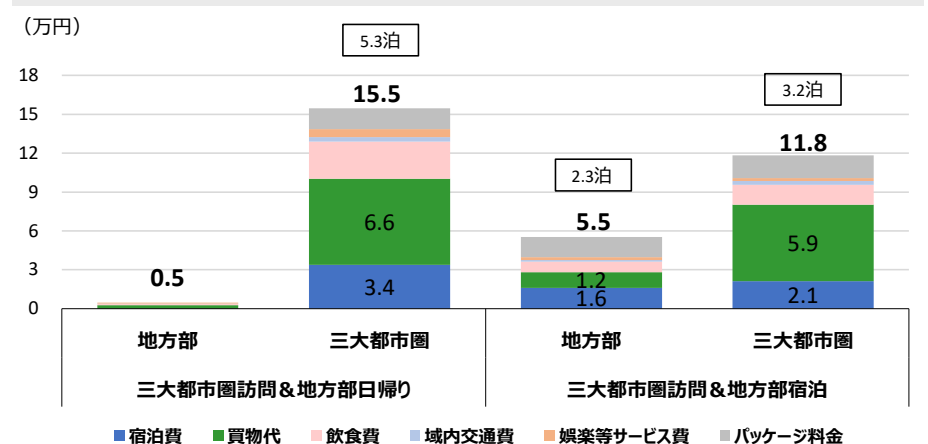
消費額の四半期動向(三大都市圏)^{注1}



訪問パターン別消費単価及び平均泊数^{注2}



訪問パターン別訪問地における消費単価及び平均泊数^{注2}



注1) 本資料は「B1地域調査」個票データ(全目的)により作成。新型コロナウイルス感染症の影響により、2023年1-3月期は調査を中止していた。

注2) 本資料は「B1地域調査」個票データ(観光・レジャー目的、2024年暦年)により作成。また、費目「その他」は図中から除外しており、訪問地における消費単価では「域間交通費」が特定の都道府県に按分することができないため含まれない。

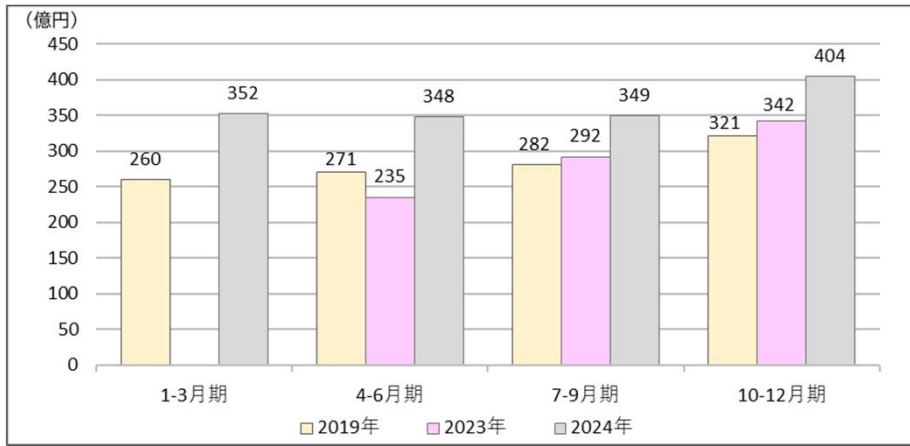
注3) 三大都市圏：埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県・愛知県・京都府・大阪府・兵庫県、地方部：三大都市圏以外の道県

注4) 「訪問」は、日本滞在中に宿泊を伴って訪問する場合のみならず、日帰りで訪問する場合を含む。

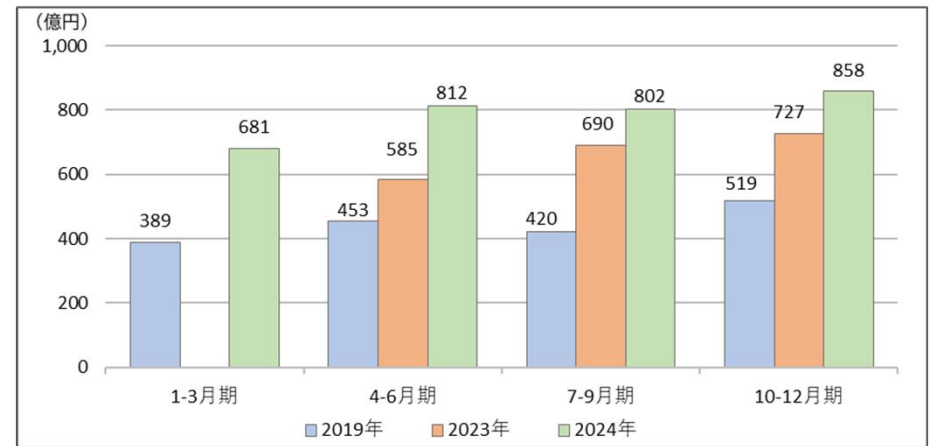
2.地方部における消費動向(香港)

- 香港では、三大都市圏・地方部いずれにおいても3カ年全てにおいて年間で10-12月期の消費額が最も高くなっている。
- 訪問パターン別に消費単価をみると、三大都市圏のみ訪問した旅行者より地方部のみ訪問した旅行者の方が、平均泊数が長いのが特徴。
- 「三大都市圏訪問&地方部訪問」した旅行者は、他の訪問パターンと比較して泊数が増えるため宿泊費も高くなっている。

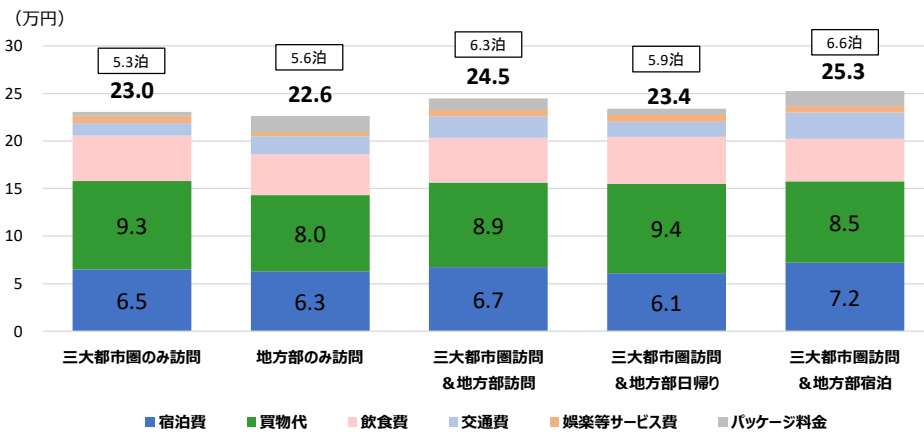
消費額の四半期動向(地方部)^{注1}



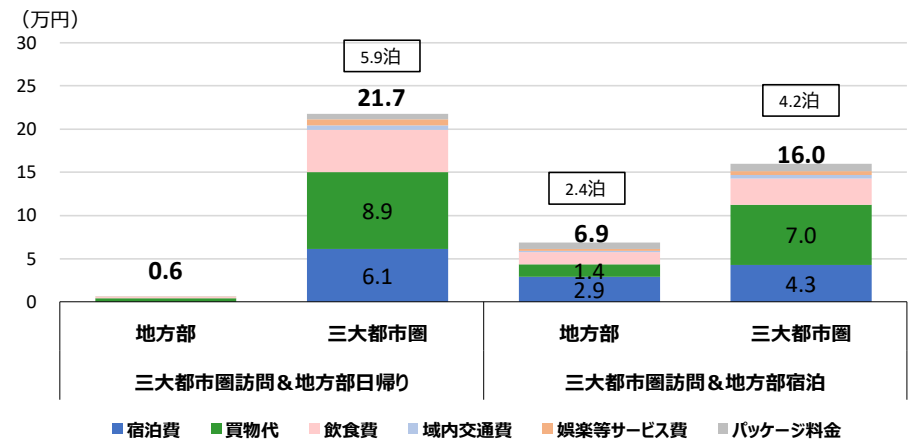
消費額の四半期動向(三大都市圏)^{注1}



訪問パターン別消費単価及び平均泊数^{注2}



訪問パターン別訪問地における消費単価及び平均泊数^{注2}



注1) 本資料は「B1地域調査」個票データ(全目的)により作成。新型コロナウイルス感染症の影響により、2023年1-3月期は調査を中止していた。

注2) 本資料は「B1地域調査」個票データ(観光・レジャー目的、2024年暦年)により作成。また、費目「その他」は図中から除外しており、訪問地における消費単価では「域間交通費」が特定の都道府県に按分することができないため含まれない。

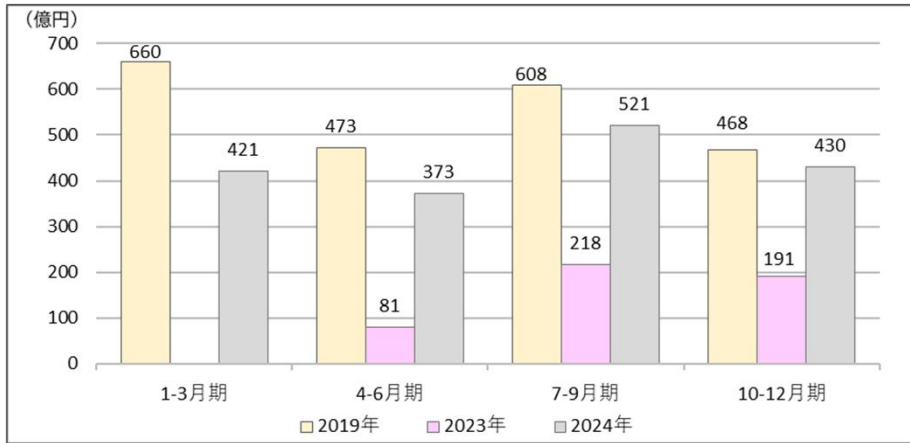
注3) 三大都市圏：埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県・愛知県・京都府・大阪府・兵庫県、地方部：三大都市圏以外の道県

注4) 「訪問」は、日本滞在中に宿泊を伴って訪問する場合のみならず、日帰りで訪問する場合を含む。

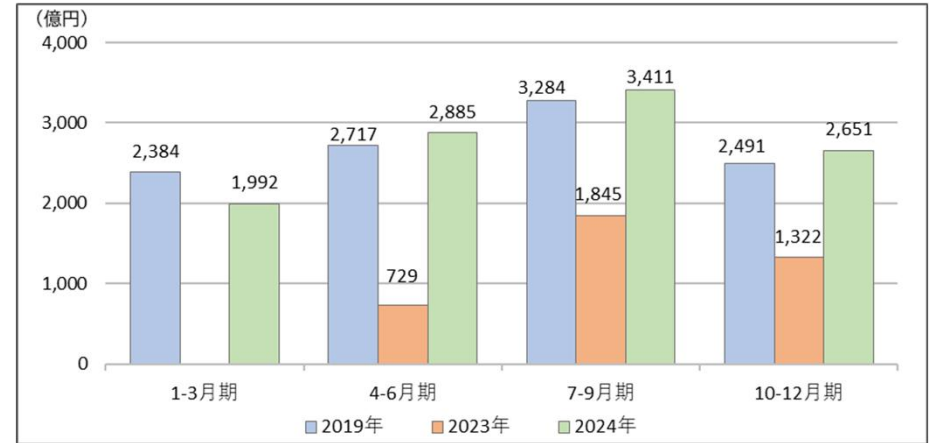
2.地方部における消費動向(中国)

- 地方部消費では4-6月期が少なく、7-9月期が多くなる傾向。
 - 訪問パターン別に消費単価をみると、いずれのパターンにおいても買物代が全国籍・地域と比べて高い傾向であり、特に三大都市圏のみ訪問した旅行者が高い。
- また、買物代は訪問パターンによって差があるが、他の費目の消費単価は訪問パターンによる差が小さいことが特徴。
- 「三大都市圏訪問&地方部訪問」した旅行者の訪問地における泊数と消費単価をみると三大都市圏の占める割合が高い。

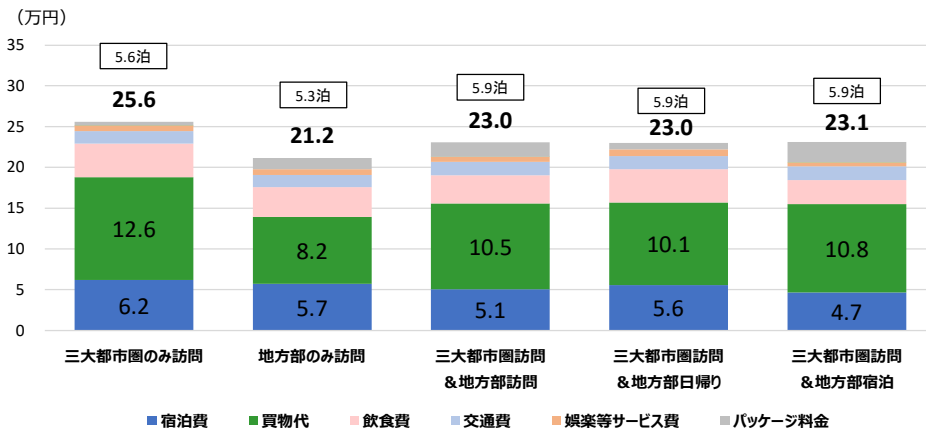
消費額の四半期動向(地方部)^{注1}



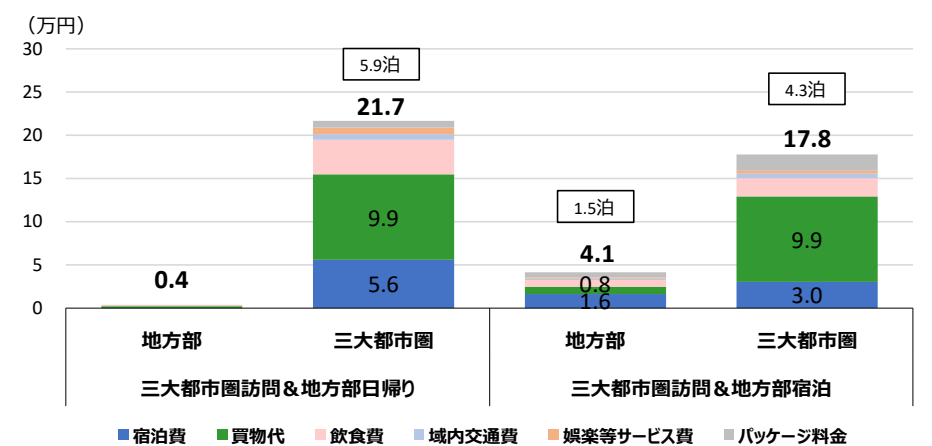
消費額の四半期動向(三大都市圏)^{注1}



訪問パターン別消費単価及び平均泊数^{注2}



訪問パターン別訪問地における消費単価及び平均泊数^{注2}



注1) 本資料は「B1地域調査」個票データ(全目的)により作成。新型コロナウイルス感染症の影響により、2023年1-3月期は調査を中止していた。

注2) 本資料は「B1地域調査」個票データ(観光・レジャー目的、2024年暦年)により作成。また、費目「その他」は図中から除外しており、訪問地における消費単価では「域間交通費」が特定の都道府県に按分することができないため含まれない。

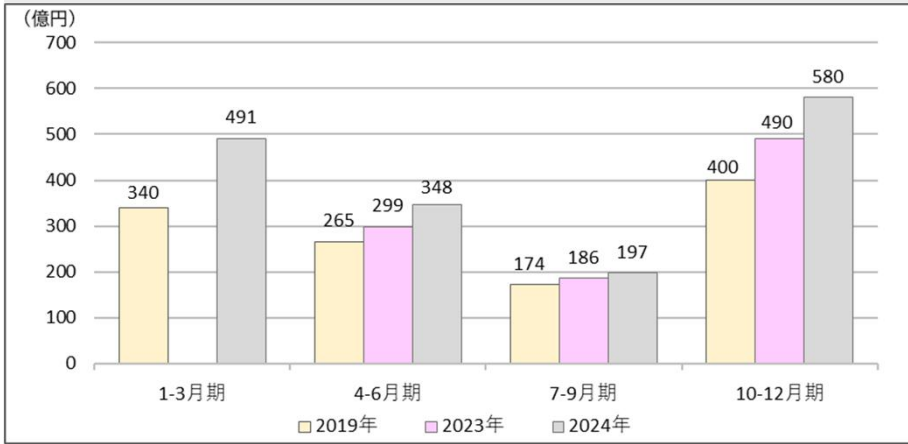
注3) 三大都市圏：埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県・愛知県・京都府・大阪府・兵庫県、地方部：三大都市圏以外の道県

注4) 「訪問」は、日本滞在中に宿泊を伴って訪問する場合のみならず、日帰りで訪問する場合を含む。

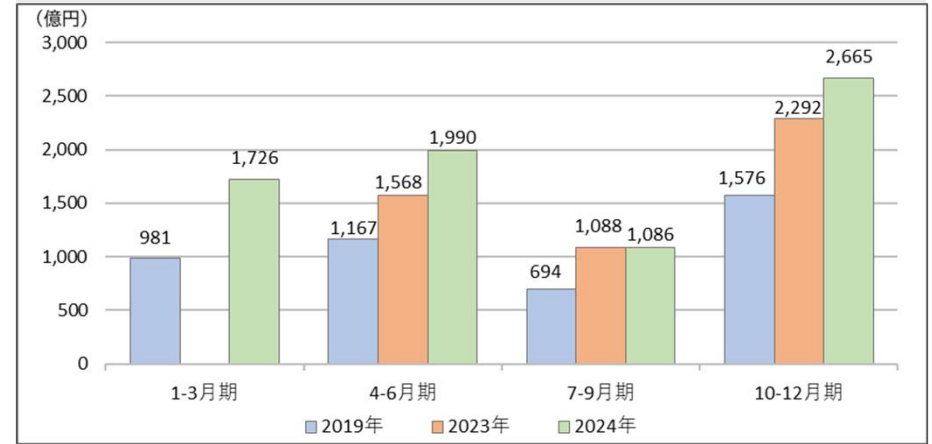
2.地方部における消費動向(東南アジア)

- 東南アジアでは、三大都市圏、地方部ともに10-12月期の消費額が高く、7-9月期の消費額が低い。
- 三大都市圏では4-6月期、地方部では1-3月期が次いで高くなっている。
- 訪問パターン別に消費単価をみると、平均泊数及び消費単価ともに全国籍・地域と比べてパターン間での差が小さい。

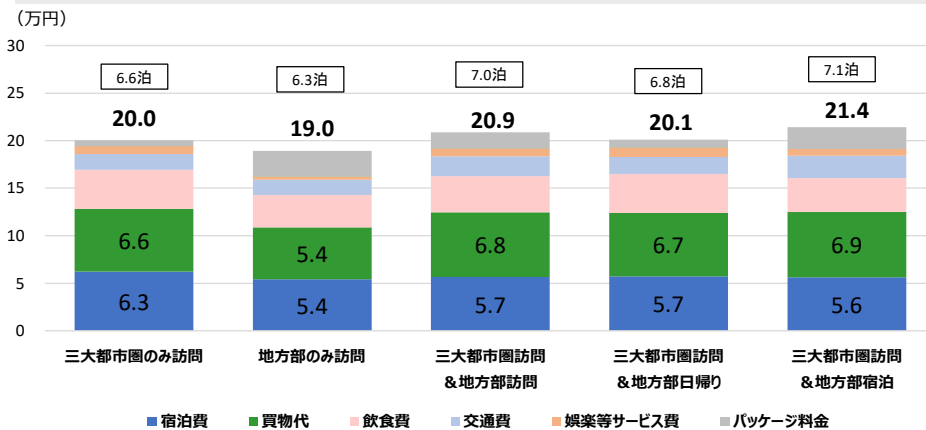
消費額の四半期動向(地方部)^{注1}



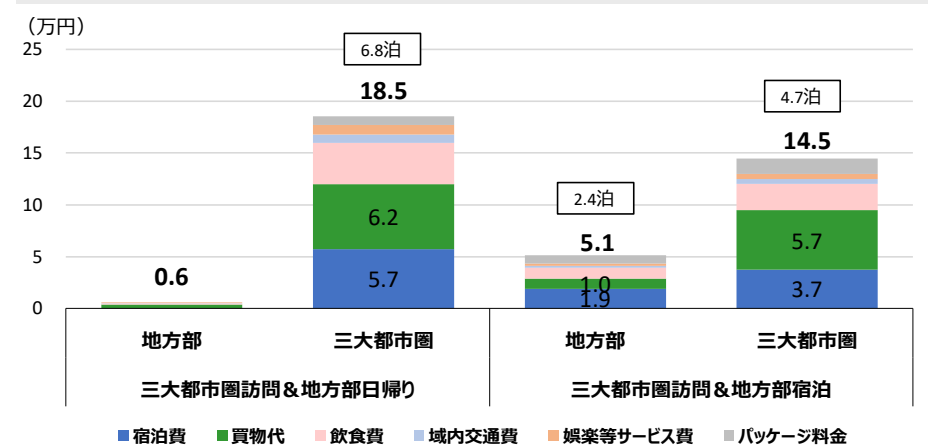
消費額の四半期動向(三大都市圏)^{注1}



訪問パターン別消費単価及び平均泊数^{注2}



訪問パターン別訪問地における消費単価及び平均泊数^{注2}



注1) 本資料は「B1地域調査」個票データ(全目的)により作成。新型コロナウイルス感染症の影響により、2023年1-3月期は調査を中止していた。

注2) 本資料は「B1地域調査」個票データ(観光・レジャー目的、2024年暦年)により作成。また、費目「その他」は図中から除外しており、訪問地における消費単価では「域間交通費」が特定の都道府県に按分することができないため含まれない。

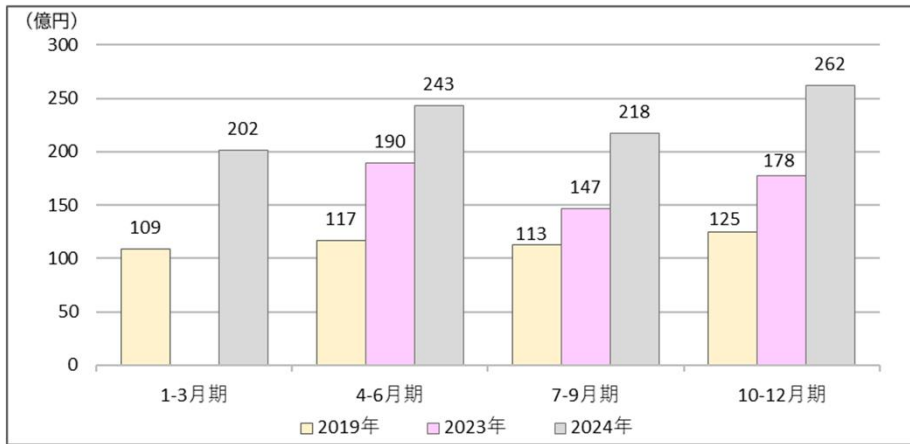
注3) 三大都市圏：埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県・愛知県・京都府・大阪府・兵庫県、地方部：三大都市圏以外の道県

注4) 「訪問」は、日本滞在中に宿泊を伴って訪問する場合のみならず、日帰りで訪問する場合を含む。

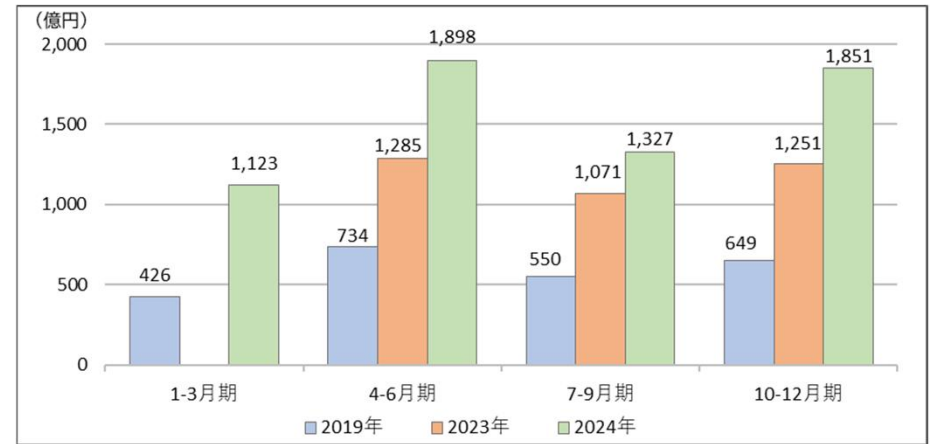
2.地方部における消費動向(米国)

- 米国では、三大都市圏、地方部ともに2019年から2024年にかけて消費額が伸びている。
- 三大都市圏では4-6月期、地方部では10-12月期が伸び率が高い一方で、1-3月期は他の期と比較して消費額が低い傾向。
- 訪問パターン別に消費単価をみると、三大都市圏訪問&地方部宿泊した旅行者が消費単価が高く平均泊数が長い。他の国籍・地域と比較して消費総額に対する買物代の占める割合が小さい。

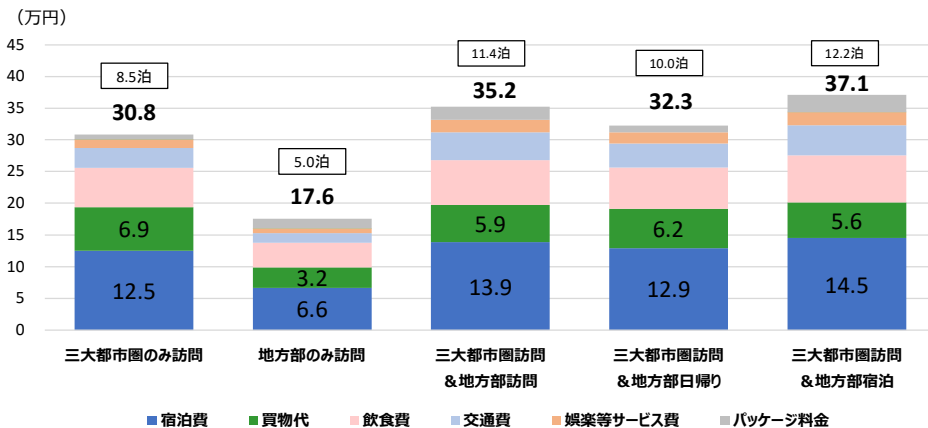
消費額の四半期動向(地方部)^{注1}



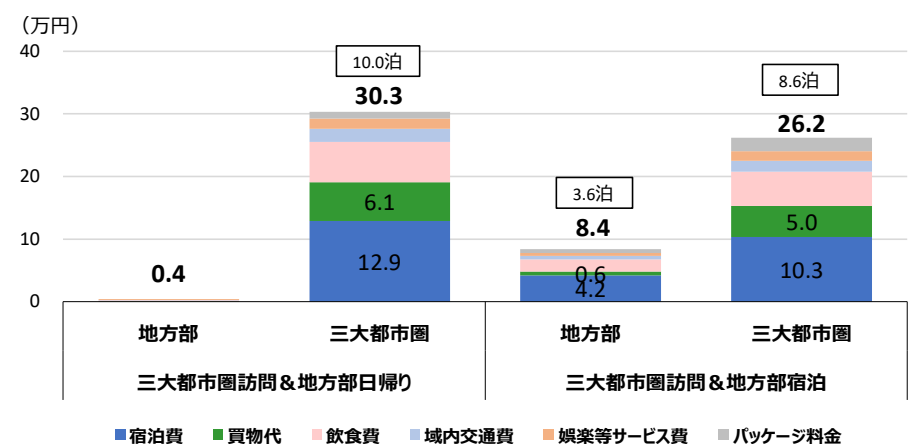
消費額の四半期動向(三大都市圏)^{注1}



訪問パターン別消費単価及び平均泊数^{注2}



訪問パターン別訪問地における消費単価及び平均泊数^{注2}



注1) 本資料は「B1地域調査」個票データ(全目的)により作成。新型コロナウイルス感染症の影響により、2023年1-3月期は調査を中止していた。

注2) 本資料は「B1地域調査」個票データ(観光・レジャー目的、2024年暦年)により作成。また、費目「その他」は図中から除外しており、訪問地における消費単価では「域間交通費」が特定の都道府県に按分することができないため含まれない。

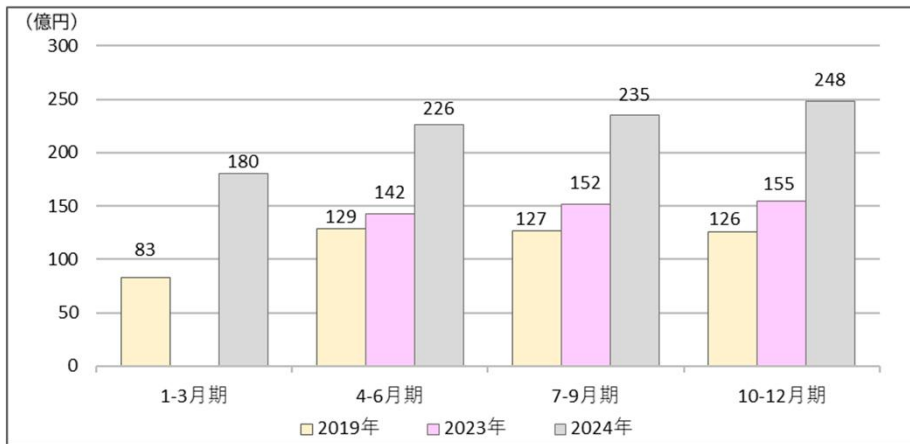
注3) 三大都市圏：埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県・愛知県・京都府・大阪府・兵庫県、地方部：三大都市圏以外の道県

注4) 「訪問」は、日本滞在中に宿泊を伴って訪問する場合のみならず、日帰りで訪問する場合を含む。

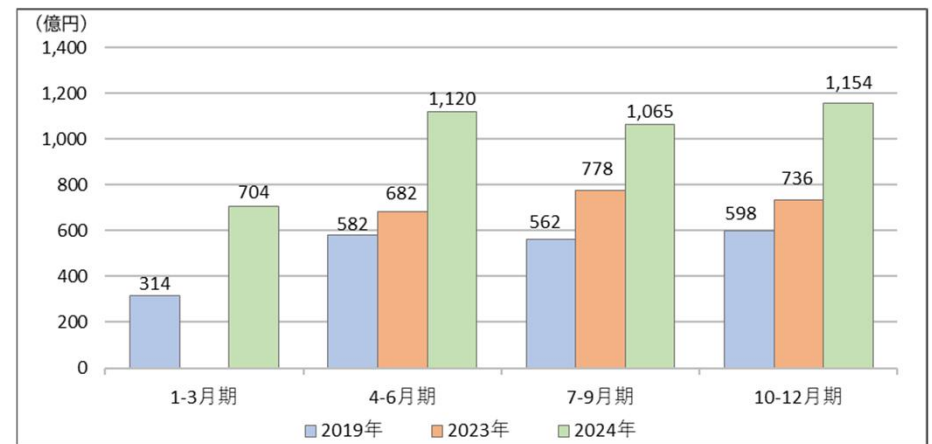
2.地方部における消費動向(欧州)

- ・ 欧州については、三大都市圏、地方部ともに1-3月期の消費額が低く、10-12月期がやや高い傾向。
- ・ 訪問パターン別に消費単価をみると、三大都市圏訪問&地方部訪問した旅行者の消費単価が高く平均泊数が長い。他の国籍・地域と比較して消費総額に対する買物代の占める割合が小さい。

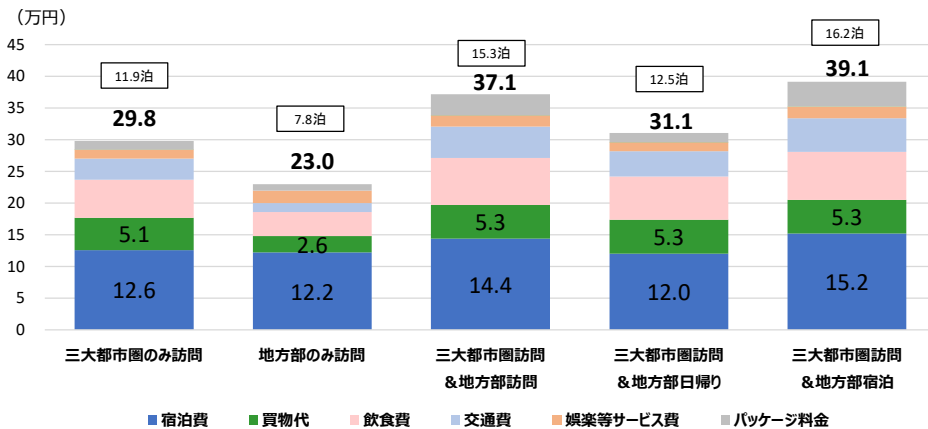
消費額の四半期動向(地方部)^{注1}



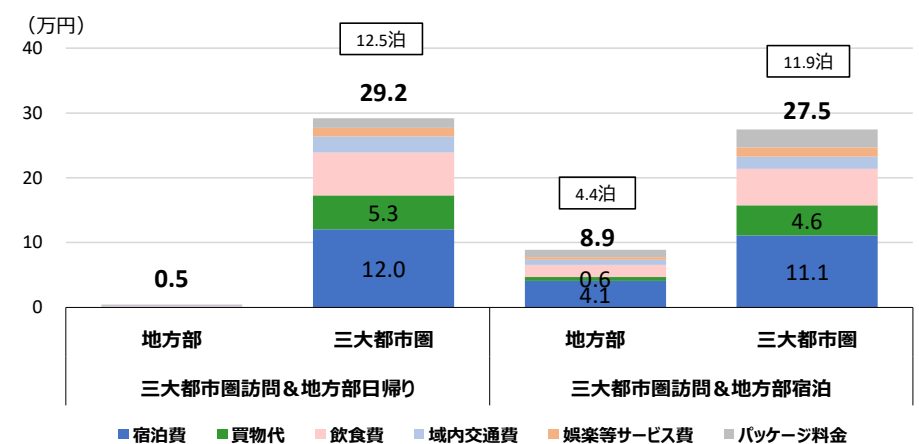
消費額の四半期動向(三大都市圏)^{注1}



訪問パターン別消費単価及び平均泊数^{注2}



訪問パターン別訪問地における消費単価及び平均泊数^{注2}



注1) 本資料は「B1地域調査」個票データ(全目的)により作成。新型コロナウイルス感染症の影響により、2023年1-3月期は調査を中止していた。

注2) 本資料は「B1地域調査」個票データ(観光・レジャー目的、2024年暦年)により作成。また、費目「その他」は図中から除外しており、訪問地における消費単価では「域間交通費」が特定の都道府県に按分することができないため含まれない。

注3) 三大都市圏：埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県・愛知県・京都府・大阪府・兵庫県、地方部：三大都市圏以外の道県

注4) 「訪問」は、日本滞在中に宿泊を伴って訪問する場合のみならず、日帰りで訪問する場合を含む。